

設 計 書

道路メンテナンス事業

	課 長		課 補 長 佐		課 補 長 佐		係 長		審 査 者		設 計 者	
年 月 日	令 和 7 年 6 月 日											
工 事 番 号	年 第 号											
河 川 名 路 線 名	市道 出羽線【出羽橋】											
施 行 位 置	阿久根市 大川 地内											
工 事 名	令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋 修繕工事											
工 期	175 日間 まで	施 行 方 法		直 営 ・ 請 負								
支 出 科 目	年 度 7	会 計			款			項	目			節
	区 分			金 額			摘 要					
	設 計 額			円								
其 の 他	出羽橋は1961年に架設され、共用年数は、64年になる。老朽化に伴い、主桁や床版の鉄筋露出及び防護柵の欠損などの橋梁の劣化が著しく、危険な状態にある。そこで、橋梁詳細修繕計画に基づき、本橋梁の機能回復を図るべく補修を実施するものである。											

出羽橋 橋長 L=10.0m
車道幅員 L=4.0～11.6m

ひび割れ補修工 1式
断面修復工 1式
水切材設置工 1式
橋面補修工 1式
表面保護工 1式
流末処理工 1式
支承補修工 1式
伸縮装置設置工 1式
防護柵取替工 1式
仮設工 1式
雑工 1式

費 用	金 額	備 考
事 業 費	円	
工 事 費	円	
本 工 事 費	円	工事価格 消費税等 円 相当額 円
附 帯 工 事 費		
測 量 及 び 試 験 費		
用地費 及び 補償費		
換 地 諸 費 又 は 権 利 交 換 諸 費		
事 務 費		
事 務 雑 費		
工 事 雑 費		

工 事 設 計 書			
設計書総括情報			
事 務 所 名	阿久根市		
設 計 書 名	実施設計書		
事 業 名	道路メンテナンス事業		
積算総括情報			
諸 経 費 体 系	A 公共		
適用単価区分	1 実施単価		
単価適用地区	31 北薩③		
単 価 適 用 日	0 令和 7年 6月 1日		
積算条件／諸経費情報	【 当 世 代 】		【 前 世 代 】
前払率 (%)	4 0 %		
工種	1 2 橋梁保全		
施工地域	0 3 一般影響有り(2)現道4工種		
現場環境改善費	0 2 計上有り (市街地以外)		
消費税税率	0 4 消費税税率：1 0 %		
契約保証	0 1 金銭的保証を要す		

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							X1000
ひび割れ補修工 レベル1							Y1154
構造物ひび割れ補修工（低圧注入工法） 補修延長 7.95m							S3380 0
		1		構造物			施工内訳0-0001号表
構造物ひび割れ補修工（充てん工法） 補修延長 0.65m							S3380 0
		1		構造物			施工内訳0-0002号表
断面修復工 レベル1							Y1154
構造物断面補修工（左官工法） 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 含む・含まない混合							V0001 0
		1		構造物			施工内訳0-0003号表
水切り材設置工 レベル1							Y1154
水切り材設置工							V0014 0
		22		m			施工内訳0-0004号表
橋面補修工 レベル1							Y1154

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋面防水工（塗膜系） 補修					S8530 0
	47	m ²			施工内訳0-0005号表
コンクリート舗装版破碎工					V0018 0
	47	m ²			施工内訳0-0006号表
表層（車道・路肩部）W=3.0m超 t =30mm, 密粒度キヤップ As（新材） 密度 2.35 t /m3, タックコート PK-4 As合材 200 t 未満/工事（通常時間帯）	47	m ²			SQ155 0 施工内訳0-0008号表
基層（車道・路肩部）W=3.0m超 t =30mm, 密粒度As（再生） 密度 2.35 t /m3, タックコート PK-4 As合材 200 t 未満/工事（通常時間帯）	47	m ²			SQ155 0 施工内訳0-0009号表
アスファルト舗装版切断 アスファルト舗装版厚15cm以下					SQZ185 0
	18	m			施工内訳0-0010号表
アスファルト舗装版破碎 舗装版厚15cm以下, 障害等無し 振動騒音対策不要 積込作業有り	35	m ²			SQZ184 0 施工内訳0-0011号表
表層（車道・路肩部）W=3.0m超 t =40mm, 密粒度As（再生） 密度 2.35 t /m3, フライムコート PK-3 As合材 200 t 未満/工事（通常時間帯）	35	m ²			SQ155 0 施工内訳0-0012号表
上層路盤（車道・路肩部） 粒調碎石 M-30 1層施工	35	m ²			SQ150 0 施工内訳0-0013号表
下層路盤（車道・路肩部） 再生碎石 RC-30 1層施工	35	m ²			SQ150 0 施工内訳0-0014号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
表面保護工	レベル 1						Y1154
	下地処理工						V0003 0
		94	m ²				
	含浸剤塗布						V0004 0
		94	m ²				
流末処理工	レベル 1						Y1154
	排水管設置工						V0005 0
		3	m				
	コンクリートアンカーボルト設置工						V0002 0
		24	本				
	硬質塩ビ管 (VP75) JIS K6741						T0040 0
		2	m				
	ソケット φ75						F0007 0
		4	個				
	フランジ掃除口						F0008 0
		6	組				

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アンカーボルト					F0003 0
	24	本			
取付金具 φ75					F0009 0
	4	組			
エポキシ樹脂シール材					F0010 0
	1	缶			
排水目皿					F0004 0
	6	枚			
支承補修工					Y1154
レベル1					
素地調整					V0008 0
	1	m ²			施工内訳0-0019号表
小規模塗装工					V0011 0
	1	m ²			施工内訳0-0022号表
塗装剤					V0012 0
	1	式			施工内訳0-0023号表
現場発生品及び支給品運搬					SQZ207 0
トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t					
DID無し 32.5km超37.5km以下	0.04	t			施工内訳0-0024号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
伸縮装置設置工 レベル 1						Y1154
伸縮装置設置工 レベル 1						
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工 A1橋台						V0007 0
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工 A1橋台	1		式			施工内訳0-0025号表
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工 A2橋台						V0006 0
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工 A2橋台	1		式			施工内訳0-0028号表
防護柵取替工 レベル 1						Y1154
防護柵取替工 レベル 1						
防護柵設置工						V0013 0
防護柵設置工	22		m			施工内訳0-0031号表
支柱アンカー 形式 B型(穿孔アンカー方式) 支柱間隔2m, 設置高さ4m以下 支柱アンカー (材料費) 含まず						SQZ437 0
支柱アンカー (材料費) 含まず	22		m			施工内訳0-0032号表
ホークアンカーボルト M12×100						F0022 0
ホークアンカーボルト M12×100	64		本			
防食保護キャップ						F0023 0
防食保護キャップ	64		個			
防護柵撤去工						V0020 0
防護柵撤去工	22		m			施工内訳0-0033号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	現場発生品及び支給品運搬 トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t DID無し 17.0km超20.5km以下					SQZ207 0
		0.08	t			施工内訳0-0034号表
仮設工	レベル1					Y1154
	ブラスト用養生シート工					V0015 0
		46	m ² . 回			施工内訳0-0035号表
	吊足場 桁高 1.5m未満 供用3ヶ月					S3354 0
		46	m ²			施工内訳0-0036号表
	片側朝顔防護柵足場 防護種類 シート+板張、使用回数2回 架設総月数 2.0月を超え3.0月以下					SQZ451 0
		22	m ²			施工内訳0-0037号表
雑工	レベル1					Y1154
	Co殻運搬(無筋) 運搬距離14.4km超18.5km以下、DID無し 機械積込					SQZ101 0
		4	m ³			施工内訳0-0038号表
	AS殻運搬 運搬距離12.0km超17.0km以下、DID無し 機械積込(小規模土工)					SQZ101 0
		2	m ³			施工内訳0-0039号表
共通仮設費 現場管理費 一般管理費対象外						#0046

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スクラップ					F0030 0
	0.08	t			
処分費（直工内）					#0042
産業廃棄物受入料（Co殻無筋） コンクリート塊（無筋） 産業廃棄物税上乗せ相当額を含む					S9910 0 *
	4	m3			施工内訳0-0040号表
産業廃棄物受入料（AS殻） アスファルト塊（掘削） 産業廃棄物税上乗せ相当額を含む					S9910 0 *
	2	m3			施工内訳0-0041号表
ブラスト処分費					F0019 0
	0.04	t			
産廃税相当額（直工内）					#0047
産廃廃棄物税					F0006 0
	0.04	t			
直接工事費					
技術管理費					Z0006
		式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
極小規模鉄筋探査工 ※技術管理費にて計上					V0009 0
	0.3	m ²			施工内訳0-0042号表
溶出試験					V0019 0
	1	検体			施工内訳0-0043号表
現場環境改善費					Z0010
		式			
共通仮設費（ 率分）					
		式			
＊ ＊ 共通仮設費計 ＊ ＊					
＊ ＊ 純工事費 ＊ ＊					
現場管理費					
		式			
＊ ＊ 現場管理費計 ＊ ＊					
＊ ＊ 工事原価 ＊ ＊					

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費							
				式			
契約保証費							
				式			
一般管理費等計							
工事価格							
消費税相当額							
				式			
請負工事費							
工事価格計							
消費税相当額計							
				式			
請負工事費計							

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.50	人			R2500 1
特殊作業員	2.40	人			R0100 1
普通作業員	1.80	人			R0200 1
注入材	1.58	kg			
シーラ材	1.11	kg			
低圧注入器具	32.00	個			
諸雑費	6.00	%			#01
*** 単位当り計 ***	1	構造物			
A=2 低圧注入工法 E=1.58 注入材使用数量 [kg／構造物] ※ロス率含む G=0.81 シーラ材設計数量 [kg／構造物]			B=7.95 1 構造物当り補修延べ延長 F= 注入材 単価 [円／kg] H= シーラ材 単価 [円／kg]		[m／構造物]
I=32 注入器具使用数量[個／構造物] ※ロス率含む K=1 II-2-⑨-1, 4			J= 注入器具 単価 [円／個]		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.85	人			R2500 1
特殊作業員	1.30	人			R0100 1
普通作業員	1.10	人			R0200 1
充てん材材料費	0.22	kg			
諸雑費	17.00	%			#01
*** 単位当り計 ***	1	構造物			
A=1 充てん工法 C=0.18 充てん材設計数量 [kg／構造物] K=1 II-2-⑨-1, 4			B=0.65 1 構造物当り補修延べ延長 D= 充てん材 単価 [円／kg]		[m／構造物]

構造物断面補修工（左官工法）
鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理

V0001
含む・含まない混合

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0003号表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	10.93	人			R2500 1
特殊作業員	18.05	人			R0100 1
普通作業員	11.88	人			R0200 1
ポリマーセメントモルタル 無収縮 0.101×1.18（ロス率）	0.561	m3			T0815
諸雑費	11	%			#01
*** 単位当り計 ***	1	構造物			

水切り材設置工

V0014

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0004号表

頁0-0015

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.12	人			R2500 1
特殊作業員	1.12	人			R0100 1
普通作業員	2.23	人			R0200 1
ウォーターカッター	100	m			F0001 1
諸雑費	3	%			#01
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			

橋面防水工（塗膜系）
補修

S8530

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0005号表

頁0-0016

100 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
補修	100	m ²			市場単価
床版排水（ドレーン）材	81.60	m			
目地材	82.29	m			
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=2 塗膜防水工 C= ドレーン材の単価（円／m） E= 目地材の単価（円／m）			B=2 補修 D=77.71 ドレーン材の数量（m／100m ² ） F=78.37 目地材の数量（m／100m ² ）		
G=1 200m ² 以上（標準）又は補修作業の場合 I=1 夜間作業の補正なし			H=1 時間的制約を受けない場合又は補修の場合 J=1 VI-2-⑫-1		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.3	人			R2500 1
特殊作業員	1.6	人			R0100 1
普通作業員	1.1	人			R0200 1
空気圧縮機運転費 エンジンコンプレッサ 2.5m ³ /min	0.8	日			SA051 施工内訳0-0007号表
諸雑費	1	%			#01
*** 合 計 ***	10	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			

空気圧縮機運転費

エンジンコンプレッサ 2.5m3/min

SA051

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0007号表

頁0-0018

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
空気圧縮機賃料 可搬式エンジン掛, 2.5m3/min	1.70	日			T0302
軽油	21.000	L			T0002
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	日			
A=2 エンジンコンプレッサ 2.5m3/min C=1 発動発電機 E=21 軽油燃料量			B=0 日運転時間 (モーターコンプレッサの場合入力) D=1.7 賃料供用日数		

施 工 内 訳 表

表層(車道・路肩部)W=3.0m超
t=30mm, 密粒度ギャップAs(新材)

SQ155

密度 2.35 t/m³, タックコート PK-4

施工内訳0-0008号表

As合材 200 t未満/工事(通常時間帯)

1

m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルトフィニッシュ賃料 ホイール型, 舗装幅2.3~6.0m	0.001	日			T0477 1
ロードローラ賃料 マカダム, 10~12t	0.001	日			T0415 1
タイヤローラ賃料 8~20t	0.001	日			T0422 1
普通作業員	0.003	人			R0200 1
特殊作業員	0.001	人			R0100 1
運転手(特殊)	0.001	人			R1400 1
土木一般世話役	0.000	人			R2500 1
アスファルト混合物(新材) 密粒度ギャップ	0.076	t			T7006 1
アスファルト乳剤 PK3・4	0.000	t			T7022 1
軽油	0.064	L			T0002 1
※※ 代表機労材規格 ※※	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ積算単価》	1.00	m ²			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=1 車道・路肩部 C=30 平均厚さ [単位 : mm] E=4 密粒度キヤップAs(新材)			B=3 表層 D=4 W=3.0m超 G=1 締固め後密度 2.35 t /m3(標準)		
H=1 タックコート PK-4 J=1 通常時間帯			I=2 As合材 200 t 未満/工事 K=1 IV-1-②-2, 8		

施 工 内 訳 表

基層(車道・路肩部)W=3.0m超
t=30mm, 密粒度As(再生)

SQ155
密度 2.35 t/m³, タックコート PK-4

施工内訳0-0009号表
As合材 200 t未満/工事(通常時間帯)

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルトフィニッシュ賃料 ホイール型, 舗装幅2.3~6.0m	0.001	日			T0477 1
ロードローラ賃料 マカダム, 10~12t	0.001	日			T0415 1
タイヤローラ賃料 8~20t	0.001	日			T0422 1
普通作業員	0.003	人			R0200 1
特殊作業員	0.001	人			R0100 1
運転手(特殊)	0.001	人			R1400 1
土木一般世話役	0.000	人			R2500 1
再生アスファルト混合物 密粒度	0.076	t			T9109 1
アスファルト乳剤 PK3・4	0.000	t			T7022 1
軽油	0.065	L			T0002 1
※※ 代表機労材規格 ※※	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ積算単価》	1.00	m ²			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=1 車道・路肩部 C=30 平均厚さ [単位 : mm] E=3 密粒度As(再生)			B=1 基層 D=4 W=3.0m超 G=1 締固め後密度 2.35 t/m3(標準)		
H=1 タックコート PK-4 J=1 通常時間帯			I=2 As合材 200 t 未満/工事 K=1 IV-1-②-2, 8		

アスファルト舗装版切断
アスファルト舗装版厚15cm以下
機械構成比：

SQZ185

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0010号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：
1 m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
コンクリートカッタ [ハキューム式 (超低騒音) ・湿式] 切削深 2 0 c m 級 ブレード径 5 6 c m			コンクリートカッター [ハキューム式 (超低騒音型) ・湿式] 切削深 2 0 c m 級 ブレードφ 5 6 c m		M4737P
その他 (機械)			その他 (機械)		EK009
特殊作業員			特殊作業員		R0100
土木一般世話役			土木一般世話役		R2500
普通作業員			普通作業員		R0200

アスファルト舗装版切断
アスファルト舗装版厚15cm以下
機械構成比：

SQZ185

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0010号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：
1 m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
その他 (労務)			その他 (労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 4 5 cm			コンクリートカッタ (ブレード) 径 1 8 インチ		T0094
ガソリン			ガソリン レギュラー スタンド		T0001
その他 (材料)			その他 (材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001

アスファルト舗装版切断
アスファルト舗装版厚15cm以下
機械構成比：

SQZ185

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0010号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：
1

m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
*** 単位当り計 ***					
A=1 アスファルト舗装版 E=1 IV-3-③-1			B=1 15cm以下		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ賃料(後方超小旋回) 山積0.45 m3			バックホウ クローラ型 後方超小旋回型 山積0.45 m3		T0478
土木一般世話役			土木一般世話役		R2500
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		R1400
普通作業員			普通作業員		R0200
軽油			軽油 パトロール給油		T0002

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					
A=1 アスファルト舗装版 C=1 不要 F=1 有り			B=1 無し D=1 15cm以下 G=1 IV-3-②-2		

施 工 内 訳 表

頁0-0028

表層(車道・路肩部)W=3.0m超
t=40mm, 密粒度As(再生)

SQ155

密度 2.35 t/m³, プライムコート PK-3

施工内訳0-0012号表

As合材 200 t未満/工事(通常時間帯)

1

m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルトフィニッシャ賃料 ホイール型, 舗装幅2.3～6.0m	0.001	日			T0477 1
ロードローラ賃料 マカダム, 10～12t	0.001	日			T0415 1
タイヤローラ賃料 8～20t	0.001	日			T0422 1
普通作業員	0.003	人			R0200 1
特殊作業員	0.001	人			R0100 1
運転手(特殊)	0.001	人			R1400 1
土木一般世話役	0.000	人			R2500 1
再生アスファルト混合物 密粒度	0.101	t			T9109 1
アスファルト乳剤 PK3・4	0.001	t			T7022 1
軽油	0.064	L			T0002 1
※※ 代表機労材規格 ※※	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ積算単価》	1.00	m ²			

05-00000000001-40

阿 久 根 市

施 工 内 訳 表

表層(車道・路肩部)W=3.0m超
t=40mm, 密粒度As(再生)

SQ155
密度 2.35 t/m³, プライムコート PK-3

施工内訳0-0012号表
As合材 200 t 未満/工事(通常時間帯)

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=1 車道・路肩部 C=40 平均厚さ [単位 : mm] E=3 密粒度As(再生)			B=3 表層 D=4 W=3.0m超 G=1 締固め後密度 2.35 t/m ³ (標準)		
H=2 プライムコート PK-3 J=1 通常時間帯			I=2 As合材 200 t 未満/工事 K=1 IV-1-②-2, 8		

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0013号表

上層路盤（車道・路肩部）
粒調碎石 M-30

SQ150

1層施工

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モータグレーダ [土工用] 排ガス2次 ブレード幅3. 1 m	0. 001	供用日			MB031P 1
ロードローラ [マカダム] 排ガス2次 質量1 0 t 締固め幅2. 1 m	0. 001	供用日			MB610P 1
タイヤローラ賃料 8～2 0 t	0. 001	日			T0422 1
運転手（特殊）	0. 003	人			R1400 1
特殊作業員	0. 001	人			R0100 1
普通作業員	0. 001	人			R0200 1
土木一般世話役	0. 000	人			R2500 1
粒調碎石（M－3 0）	0. 089	m 3			T0511 1
軽油	0. 120	L			T0002 1
＊ ＊ 代表機労材規格 ＊ ＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《 施工パッケージ 積算単価 》	1. 00	m ²			
＊ ＊ ＊ 単位当り計 ＊ ＊ ＊	1	m ²			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A=1 車道・路肩部 E=70 全仕上り厚 [mm] I=1 IV-1-①-4～11			B=2 上層路盤 G=7 粒調碎石 M-30		

施 工 内 訳 表

下層路盤（車道・路肩部）
再生砕石 RC-30

SQ150

施工内訳0-0014号表

1 層施工

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モータグレーダ [土工用] 排ガス2次 ブレード幅3. 1 m	0. 001	供用日			MB031P 1
ロードローラ [マカダム] 排ガス2次 質量1 0 t 締固め幅2. 1 m	0. 001	供用日			MB610P 1
タイヤローラ賃料 8 ～ 2 0 t	0. 001	日			T0422 1
運転手（特殊）	0. 003	人			R1400 1
特殊作業員	0. 001	人			R0100 1
普通作業員	0. 001	人			R0200 1
土木一般世話役	0. 000	人			R2500 1
再生砕石（R C － 3 0）	0. 127	m 3			T9105 1
軽油	0. 119	L			T0002 1
＊ ＊ 代表機労材規格 ＊ ＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《 施工パッケージ 積算単価 》	1. 00	m ²			
＊ ＊ ＊ 単位当り計 ＊ ＊ ＊	1	m ²			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A=1 車道・路肩部 C=100 全仕上り厚 [mm] I=1 IV-1-①-4～11			B=1 下層路盤 G=3 再生砕石 RC-30		

下地処理工

V0003

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0015号表

頁0-0034

100 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.5	人			R2500 1
特殊作業員	1	人			R0100 1
普通作業員	2	人			R0200 1
諸雑費	10	%			#01
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			

含浸剤塗布

V0004

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0016号表

頁0-0035

50 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1	人			R2500 1
普通作業員	2.5	人			R0200 1
含浸剤 アクアシール1400	11	kg			F0002
諸雑費	10	%			#01
*** 合 計 ***	50	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			

排水管設置工

V0005

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0017号表

頁0-0036

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.3	人			R2500
特殊作業員	0.9	人			R0100
普通作業員	0.6	人			R0200
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.9	人			R2500 1
特殊作業員	2.7	人			R0100 1
普通作業員	1.8	人			R0200 1
諸雑費	2	%			#01
*** 合 計 ***	100	本			
*** 単位当り計 ***	1	本			

素地調整

V0008

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0019号表

頁0-0038

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.5	人			R2500 1
橋りょう塗装工	1	人			R2300 1
ブラスト剤	40	kg			F0005
トラック[クレーン装置付]運転費（賃料） 4 t 積 2 . 9 t 吊	1	日			SA012 施工内訳0-0020号表
空気圧縮機運転費 エンジンコンプレッサ 1 0 . 5 ～ 1 1 . 0 m3 / min	1	日			SA051 施工内訳0-0021号表
エアースラスト装置	1	日			F0013
諸雑費	5	%			#01
*** 単位当り計 ***	1	m ²			

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0020号表

SA012

トラック[クレーン装置付]運転費（賃料）
4 t 積 2. 9 t 吊

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
トラック [クレーン装置付] 賃料 クレーン装置付 4 t 積 2. 9 t 吊	1.00	供用日			T0162
軽油	31.00	L			T0002
運転手（特殊）	1.00	人			R1400
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	日			
A=2 4 t 積 2. 9 t 吊 C=31 燃料消費量（L）			B=1 特殊運転手（人） D=1 機械賃料（供用日数）		

空気圧縮機運転費
エンジンコンプレッサ 10.5～11.0m3/min

SA051

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0021号表

頁0-0040

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
空気圧縮機賃料 可搬式エンジン掛, 10.5～11.0m3/min 10.5～11.0m3/min	1.70	日			T0306
軽油	21.000	L			T0002
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	日			
A=6 エンジンコンプレッサ 10.5～11.0m3/min C=1 発動発電機 E=21 軽油燃料量			B=0 日運転時間 (モーターコンプレッサの場合入力) D=1.7 賃料供用日数		

小規模塗装工

V0011

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0022号表

頁0-0041

100 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう塗装工	34.13	人			R2300 1
諸雑費	9	%			#01
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			

塗装剤

V0012

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0023号表

頁0-0042

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防錆下地 有機ジンクリッチペイント	1	セット			F0014
下塗り塗料 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 グレー	1	セット			F0015
下塗り塗料 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 ブラウン	1	セット			F0016
中塗り塗料 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 淡彩色	1	セット			F0017
上塗り塗料 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 淡彩色	1	セット			F0018
*** 単位当り計 ***	1	式			

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック [クレーン装置付] 2 t 級 2 . 9 t 吊			トラック [クレーン装置付] 2 t 級 2 . 9 t		M1205P
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		R1400
特殊作業員			特殊作業員		R0100
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
*** 単位当り計 ***					
A=1 トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t C=24 32.5km超37.5km以下			B=1 無し D=1 I-2-③-3		

橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工
A1橋台

V0007

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0025号表

頁0-0045

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工 補修 床版箱抜型 2車線相当	1	式			S8510 施工内訳0-0026号表
ラッピングシート	13.9	m ²			F0020
*** 単位当り計 ***	1	式			

橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工
補修 床版箱抜型 2車線相当

S8510

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0026号表

頁0-0046

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
♪橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工 補修 床版箱抜型 2車線相当	10.80	m			S8509 施工内訳0-0027号表
加算額	1.00	式			
*** 単位当り計 ***	1	式			
A=7 補修 床版箱抜型 2車線相当 C=1 既設が突合わせ目地又は埋設型 E=10.8 設計数量 (m) G=1 VI-2-⑥-11	(補修のみ)		B=1 夜間作業しない場合 D=10.8 施工延長 (m) F=0.04 設計断面積 (㎡)		

施工内訳表

施工内訳0-0027号表

100 m 当り

[illegible]

橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工
A2橋台

V0006

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0028号表

頁0-0048

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工 補修 舗装厚内型 2車線相当	1	式			S8510 施工内訳0-0029号表
ラッピングシート	4.2	m ²			F0020
地覆シール	0.3	L			F0028
*** 単位当り計 ***	1	式			

橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工
補修 舗装厚内型 2車線相当

S8510

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0029号表

頁0-0049

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
♪橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工 補修 舗装厚内型 2車線相当	3.60	m			S8509 施工内訳0-0030号表
加算額	1.00	式			
*** 単位当り計 ***	1	式			
A=5 補修 舗装厚内型 2車線相当 C=1 既設が突合わせ目地又は埋設型 E=3.6 設計数量 (m) G=1 VI-2-⑥-11	(補修のみ)		B=1 夜間作業しない場合 D=3.6 施工延長 (m) F=0.024 設計断面積 (㎡)		

施工内訳表

施工内訳0-0030号表

100 m 当り

[illegible]

防護柵設置工

V0013

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0031号表

頁0-0051

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	4.2	人			R2500
普通作業員	16.8	人			R0200
転落防止柵 P20-HC-TB-B	100	m			F0021
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
特殊作業員			特殊作業員		R0100
普通作業員			普通作業員		R0200
土木一般世話役			土木一般世話役		R2500
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
*** 単位当り計 ***					
A=2 C=1 B型(穿孔アンカー方式) 4m以下			B=1 D=1 2m IV-2-②-2		

防護柵撤去工

V0020

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0033号表

頁0-0054

30 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1	人			R2500 1
特殊作業員	2	人			R0100 1
普通作業員	2	人			R0200 1
諸雑費	3	%			#01
*** 合 計 ***	30	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック [クレーン装置付] 2 t 級 2 . 9 t 吊			トラック [クレーン装置付] 2 t 級 2 . 9 t		M1205P
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		R1400
特殊作業員			特殊作業員		R0100
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001

現場発生品及び支給品運搬
トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t
機械構成比：

SQZ207
DID無し 17.0km超20.5km以下
労務構成比：

施工内訳表

施工内訳0-0034号表

材料構成比： 市場単価構成比： 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
*** 単位当り計 ***					
A=1 トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t C=16 17.0km超20.5km以下			B=1 無し D=1 I-2-㊸-3		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう特殊工	0.021	人			R2200
養生シート損料	1	㎡			F0024
*** 単位当り計 ***	1	㎡. 回			

吊足場
桁高 1.5m未満

S3354
供用3ヶ月

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0036号表

頁0-0058

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋梁特殊工（足場）	0.130	人			R2200
足場損料	3.0	月			J0001
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=1 足場工(板張防護含む) E=3 供用月数（ヶ月）			B=2 桁高 1.5m未満 F=1 IV-3-⑩-6		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
橋りょう特殊工			橋りょう特殊工		R2200
その他 (労務)			その他 (労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					
A=2 シート+板張 C=16 2.0月を超え3.0月以下			B=2 2回 D=1 IV-3-⑫-5		

Co殻運搬（無筋）
運搬距離14.4km超18.5km以下，DID無し
機械構成比： 労務構成比：
SQZ101 機械積込

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0038号表

1
m3 当り
標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む			ダンプトラック 10 t 積級 オンロード・ディーゼル タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む		M1011P
運転手 (一般)			運転手 (一般)		R1500
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
A=1 C=1 E=1 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 無し II-2-25-1			B=1 D=56 機械積込 14.4km超18.5km以下		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む			ダンプトラック 2 t 積級 オンロード・ディーゼル タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む		M1002P
運転手 (一般)			運転手 (一般)		R1500
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
A=3 C=1 E=1 舗装版破碎 無し II-2-25-1			B=4 D=53 機械積込(小規模土工) 12.0km超17.0km以下		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
産業廃棄物受入料	1.00	m3			
*** 単位当り計 ***	1	m3			
A=3 C= コンクリート塊（無筋） 受入料金（円／単位）			B=1 m3当り		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
産業廃棄物受入料	1.00	m3			
*** 単位当り計 ***	1	m3			
A=1 アスファルト塊（掘削） C= 受入料金（円／単位）			B=1 m3当り		

極小規模鉄筋探索工
※技術管理費にて計上

V0009

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0042号表

0.405 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（A）	0.5	人			RA625 1
技師（B）	1	人			RA630 1
技師（C）	1	人			RA635 1
諸雑費	5	%			#01
*** 合 計 ***	0.405	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			

溶出試験

V0019

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0043号表

頁0-0067

1 検体 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土壌・底質・産業廃棄物分析 溶出液作成料 溶出試験	1	検体			F0031
土壌・底質・産業廃棄物分析 アルキル水銀 溶出試験	1	検体			F0032
土壌・底質・産業廃棄物分析 総水銀 溶出試験	1	検体			F0033
土壌・底質・産業廃棄物分析 カドミウム 溶出試験	1	検体			F0034
土壌・底質・産業廃棄物分析 鉛 溶出試験	1	検体			F0035
土壌・底質・産業廃棄物分析 六価クロム 溶出試験	1	検体			F0036
土壌・底質・産業廃棄物分析 ひ素 溶出試験	1	検体			F0037
土壌・底質・産業廃棄物分析 PCB 溶出試験	1	検体			F0038
土壌・底質・産業廃棄物分析 セレン又はその他化合物 溶出試験	1	検体			F0039
*** 単位当り計 ***	1	検体			

入力データ一覧表

頁0-0068

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
X1000	＊＊本工事費＊＊			
Y1154	ひび割れ補修工 レベル1			
S3380	構造物ひび割れ補修工（低圧注入工法） 補修延長 7.95m	1 構造物		A=2, B=7.95, E=1.58, F=, G=0.81, H=, I=32, J=, K=1 A=低圧注入工法, B=1 構造物当り補修延べ延長 [m／構造物], E=注 入材使用数量 [kg／構造物] ※ロス率含む, F=注入材 単価 [円／k g], G=シール材設計数量 [kg／構造物], H=シール材 単価 [円／k g], I=注入器具使用数量[個／構造物]※ロス率含む, J=注入器具 単 価 [円／個], K=Ⅱ-2-⑨-1, 4
S3380	構造物ひび割れ補修工（充てん工法） 補修延長 0.65m	1 構造物		A=1, B=0.65, C=0.18, D=, K=1 A=充てん工法, B=1 構造物当り補修延べ延長 [m／構造物], C=充て ん材設計数量 [kg／構造物], D=充てん材 単価 [円／kg], K=Ⅱ-2 -⑨-1, 4
Y1154	断面修復工 レベル1			
V0001	構造物断面補修工（左官工法） 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理	1 構造物		
Y1154	水切り材設置工 レベル1			
V0014	水切り材設置工	22 m		
Y1154	橋面補修工 レベル1			
S8530	橋面防水工（塗膜系） 補修	47 m ²		A=2, B=2, C=, D=77.71, E=, F=78.37, G=1, H=1, I=1, J=1 A=塗膜防水工, B=補修, C=ドレーン材の単価（円／m）, D=ドレーン 材の数量（m／100 m ² ）, E=目地材の単価（円／m）, F=目地材の 数量（m／100 m ² ）, G=200 m ² 以上（標準）又は補修作業の場 合, H=時間的制約を受けない場合又は補修の場合, I=夜間作業の補正 なし, J=Ⅵ-2-⑫-1
V0018	コンクリート舗装版破碎工	47 m ²		
SQ155	表層（車道・路肩部）W=3.0m超 t =30mm, 密粒度キヤップ As（新材）	47 m ²		A=1, B=3, C=30, D=4, E=4, G=1, H=1, I=2, J=1, K=1 A=車道・路肩部, B=表層, C=平均厚さ [単位：mm], D=W=3.0m超, E= 密粒度キヤップ As（新材）, G=締固め後密度 2.35 t /m ³ （標準）, H=タックコ ート PK-4, I=As合材 200 t 未満/工事, J=通常時間帯, K=Ⅳ-1-②-2, 8

入力データ一覧表

頁0-0069

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
SQ155	基層(車道・路肩部)W=3.0m超 t =30mm, 密粒度As(再生)	47 m ²		A=1, B=1, C=30, D=4, E=3, G=1, H=1, I=2, J=1, K=1 A=車道・路肩部, B=基層, C=平均厚さ [単位: mm], D=W=3.0m超, E=密粒度As(再生), G=締固め後密度 2.35 t/m ³ (標準), H=タックコート PK-4, I=As合材 200 t 未満/工事, J=通常時間帯, K=IV-1-②-2, 8
SQZ185	アスファルト舗装版切断 アスファルト舗装版厚15cm以下	18 m		A=1, B=1, E=1 A=アスファルト舗装版, B=15cm以下, E=IV-3-③-1
SQZ184	アスファルト舗装版破碎 舗装版厚15cm以下, 障害等無し	35 m ²		A=1, B=1, C=1, D=1, F=1, G=1 A=アスファルト舗装版, B=無し, C=不要, D=15cm以下, F=有り, G=IV-3-②-2
SQ155	表層(車道・路肩部)W=3.0m超 t =40mm, 密粒度As(再生)	35 m ²		A=1, B=3, C=40, D=4, E=3, G=1, H=2, I=2, J=1, K=1 A=車道・路肩部, B=表層, C=平均厚さ [単位: mm], D=W=3.0m超, E=密粒度As(再生), G=締固め後密度 2.35 t/m ³ (標準), H=フ [°] ライムコート PK-3, I=As合材 200 t 未満/工事, J=通常時間帯, K=IV-1-②-2, 8
SQ150	上層路盤 (車道・路肩部) 粒調碎石 M-30	35 m ²		A=1, B=2, E=70, G=7, I=1 A=車道・路肩部, B=上層路盤, E=全仕上り厚 [mm], G=粒調碎石 M-30, I=IV-1-①-4~11
SQ150	下層路盤 (車道・路肩部) 再生碎石 RC-30	35 m ²		A=1, B=1, C=100, G=3, I=1 A=車道・路肩部, B=下層路盤, C=全仕上り厚 [mm], G=再生碎石 RC-30, I=IV-1-①-4~11
Y1154	表面保護工 レベル 1			
V0003	下地処理工	94 m ²		
V0004	含浸剤塗布	94 m ²		
Y1154	流末処理工 レベル 1			
V0005	排水管設置工	3 m		
V0002	コンクリートアンカーボルト設置工	24 本		
T0040	硬質塩ビ管 (VP75) JIS K6741	2 m		
F0007	ソケット φ 75	4 個		

入力データ一覧表

頁0-0070

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
F0008	フランジ掃除口	6 組		
F0003	アンカーボルト	24 本		
F0009	取付金具 φ75	4 組		
F0010	エポキシ樹脂シール材	1 缶		
F0004	排水目皿	6 枚		
Y1154	支承補修工 レベル1			
V0008	素地調整	1 m ²		
V0011	小規模塗装工	1 m ²		
V0012	塗装剤	1 式		
SQZ207	現場発生品及び支給品運搬 トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t	0.04 t		A=1, B=1, C=24, D=1 A=トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t, B=無し, C=32.5km超37.5km以下, D = I -2-③-3
Y1154	伸縮装置設置工 レベル1			
V0007	橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工 A1橋台	1 式		
V0006	橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工 A2橋台	1 式		
Y1154	防護柵取替工 レベル1			
V0013	防護柵設置工	22 m		
SQZ437	支柱アンカー 形式 B型(穿孔アンカー方式)	22 m		A=2, B=1, C=1, D=1 A=B型(穿孔アンカー方式), B=2m, C=4m以下, D=IV-2-②-2
F0022	ホークアンカーボルト M12×100	64 本		

入力データ一覧表

頁0-0071

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
F0023	防食保護キャップ	64 個		
V0020	防護柵撤去工	22 m		
SQZ207	現場発生品及び支給品運搬 トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t	0.08 t		A=1, B=1, C=16, D=1 A=トラック(クレーン付)2t級、吊能力2.9t, B=無し, C=17.0km超20.5km以下, D = I -2-③-3
Y1154	仮設工 レベル1			
V0015	ブラスト用養生シート工	46 m ² . 回		
S3354	吊足場 桁高 1.5m未満	46 m ²		A=1, B=2, E=3, F=1 A=足場工(板張防護含む), B=桁高 1.5m未満, E=供用月数(ヶ月), F=IV-3-⑩-6
SQZ451	片側朝顔防護柵足場 防護種類 シート+板張, 使用回数2回	22 m ²		A=2, B=2, C=16, D=1 A=シート+板張, B=2回, C=2.0月を超え3.0月以下, D=IV-3-⑫-5
Y1154	雑工 レベル1			
SQZ101	Co殻運搬(無筋) 運搬距離14.4km超18.5km以下, DID無し	4 m3		A=1, B=1, C=1, D=56, E=1 A=コンクリート(無筋)構造物とりこわし, B=機械積込, C=無し, D=14.4km超 18.5km以下, E=Ⅱ-2-25-1
SQZ101	AS殻運搬 運搬距離12.0km超17.0km以下, DID無し	2 m3		A=3, B=4, C=1, D=53, E=1 A=舗装版破碎, B=機械積込(小規模土工), C=無し, D=12.0km超17.0km 以下, E=Ⅱ-2-25-1
#0046	共通仮設費 現場管理費			
F0030	スクラップ	0.08 t		
#0042	*処分費(直工内)*			
S9910	産業廃棄物受入料(Co殻無筋) コンクリート塊(無筋)	4 m3		A=3, B=1, C= A=コンクリート塊(無筋), B=m3当り, C=受入料金(円/単位)

入力データ一覧表

頁0-0072

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
S9910	産業廃棄物受入料（AS殻） アスファルト塊（掘削）	2 m ³		A=1, B=1, C= A=アスファルト塊（掘削）, B=m ³ 当り, C=受入料金（円／単位）
F0019	ブラスト処分費	0.04 t		
#0047	＊産廃税相当額（直工内）＊			
F0006	産廃廃棄物税	0.04 t		
G0000	＊＊直接工事費＊＊			
Z0006	技術管理費	式		
V0009	極小規模鉄筋探査工 ※技術管理費にて計上	0.3 m ²		
V0019	溶出試験	1 検体		
Z0010	現場環境改善費	式		
Z0050	共通仮設費（率分）	式		
G1000	＊＊共通仮設費計＊＊			
G2000	＊＊純工事費＊＊			
Z0020	現場管理費	式		
G2900	＊＊現場管理費計＊＊			
G4000	＊＊工事原価＊＊			
Z0030	一般管理費	式		
Z0031	契約保証費	式		
G4100	＊＊一般管理費等計＊＊			

入力データ一覧表

頁0-0073

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 値 条 件 称
G4800	＊ ＊ 工事価格 ＊ ＊			
Z0038	消費税相当額	式		
G5000	＊ ＊ 請負工事費 ＊ ＊			
G6000	工事価格計			
Z0039	消費税相当額計	式		
G4900	請負工事費計			

登録単価一覧表

頁0-0074

コード	名称・規格1・規格2	単位	単 価 (0. 4. 8)	単 価 (1. 5. 9)	単 価 (2. 6)	単 価 (3. 7)	特殊集計 集計区分
F0001	ウォーターカッター	m	1,720				
F0002	含浸剤 アクアシール1400	kg	8,550				
F0003	アンカーボルト	本	220				
F0004	排水目皿	枚	7,000				
F0005	ブラスト剤	kg	70				
F0006	産廃廃棄物税	t	910				
F0007	ソケット φ75	個	380				
F0008	フランジ掃除口	組	1,620				
F0009	取付金具 φ75	組	11,800				
F0010	エポキシ樹脂シール材	缶	4,100				
F0013	エアーブラスト装置	日	50,000				
F0014	防錆下地 有機ジンクリッチペイント	セット	128,250				

登録単価一覧表

頁0-0075

コード	名称・規格1・規格2	単位	単 価 (0. 4. 8)	単 価 (1. 5. 9)	単 価 (2. 6)	単 価 (3. 7)	特殊集計 集計区分
F0015	下塗り塗料 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 グレー	セット	30,000				
F0016	下塗り塗料 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 ブラウン	セット	30,000				
F0017	中塗り塗料 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 淡彩色	セット	34,100				
F0018	上塗り塗料 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 淡彩色	セット	57,300				
F0019	ブラスト処分費	t	21,000				
F0020	ラッピングシート	m ²	14,200				
F0021	転落防止柵 P20-HC-TB-B	m	14,100				
F0022	ホークアンカーボルト M12×100	本	700				
F0023	防食保護キャップ	個	260				
F0024	養生シート損料	m ²	502				
F0030	スクラップ	t	-30,000				
F0028	地覆シール	L	5,620				

登録単価一覧表

頁0-0076

コード	名称・規格1・規格2	単位	単価 (0. 4. 8)	単価 (1. 5. 9)	単価 (2. 6)	単価 (3. 7)	特殊集計 集計区分
F0031	土壌・底質・産業廃棄物分析 溶出液作成料 溶出試験	検体	4,350				
F0032	土壌・底質・産業廃棄物分析 アルキル水銀 溶出試験	検体	9,350				
F0033	土壌・底質・産業廃棄物分析 総水銀 溶出試験	検体	4,150				
F0034	土壌・底質・産業廃棄物分析 カドミウム 溶出試験	検体	3,200				
F0035	土壌・底質・産業廃棄物分析 鉛 溶出試験	検体	3,200				
F0036	土壌・底質・産業廃棄物分析 六価クロム 溶出試験	検体	3,150				
F0037	土壌・底質・産業廃棄物分析 ヒ素 溶出試験	検体	4,100				
F0038	土壌・底質・産業廃棄物分析 PCB 溶出試験	検体	20,100				
F0039	土壌・底質・産業廃棄物分析 セレン又はその他化合物 溶出試験	検体	4,350				

機 材 集 計 表

頁0-0077

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 位	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	M1002P	191		0.7000	供用日	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	運搬・荷役機械等
2	M1011P	191		0.2000	供用日	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	運搬・荷役機械等
3	M1205P	191		0.0276	供用日	トラック [クレーン装置付]	運搬・荷役機械等
4	M4737P	193		0.1800	供用日	コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音)・湿式]	路盤用・舗装用機械等
5	MB031P	193		0.0700	供用日	モータグレーダ [土工用]	路盤用・舗装用機械等
6	MB610P	193		0.0700	供用日	ロードローラ [マカダム]	路盤用・舗装用機械等
7	R0100	202		35.2629	人	特殊作業員	労務単価
8	R0200	202		34.7923	人	普通作業員	労務単価
9	R1400	202		1.3618	人	運転手 (特殊)	労務単価
10	R1500	202		0.8000	人	運転手 (一般)	労務単価
11	R2200	202		10.4660	人	橋りょう特殊工	労務単価
12	R2300	202		1.3413	人	橋りょう塗装工	労務単価
13	R2500	202		20.8497	人	土木一般世話役	労務単価
14	RA625	388		0.3704	人	技師 (A)	設計業務基準日額 ※外業
15	RA630	388		0.7407	人	技師 (B)	設計業務基準日額 ※外業
16	RA635	388		0.7407	人	技師 (C)	設計業務基準日額 ※外業
17	T0001	221		2.3400	L	ガソリン	3-1 燃料類
18	T0002	221		173.9532	L	軽油	3-1 燃料類
19	T0040	274		2.0000	m	硬質塩ビ管 (VP75)	11-1 諸材料
20	T0094	262		0.0000	枚	コンクリートカッターブレード	9-4 ビット・ロッド
21	T0162	382		1.0000	日	トラック [クレーン装置付] 賃料	建設機械賃料
22	T0302	382		6.3920	日	空気圧縮機賃料	建設機械賃料
23	T0306	382		1.7000	日	空気圧縮機賃料	建設機械賃料
24	T0415	382		0.1290	日	ロードローラ賃料	建設機械賃料
25	T0422	382		0.1990	日	タイヤローラ賃料	建設機械賃料
26	T0477	382		0.1290	日	アスファルトフィニッシャ賃料	建設機械賃料
27	T0478	382		0.0000	日	バックホウ賃料(後方超小旋回)	建設機械賃料
28	T0511	227		3.1150	m ³	粒調砕石 (M-30)	5-1 地域別石材類
29	T0815	274		0.5610	m ³	ポリマーセメントモルタル	11-1 諸材料
30	T7006	217		3.5720	t	アスファルト混合物 (新材)	2-1 アスコン合材
31	T7022	218		0.0350	t	アスファルト乳剤	2-2 アスファルト乳剤等
32	T9105	230		4.4450	m ³	再生砕石 (RC-30)	5-4 再生砕石
33	T9109	217		7.1070	t	再生アスファルト混合物	2-1 アスコン合材
34	T9380	339		3.6000	m	橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工	市場単価 (20) 埋没型伸縮継手装置設置工
35	T9382	339		10.8000	m	橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工	市場単価 (20) 埋没型伸縮継手装置設置工

数量及び延長調書

No1

令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋 修繕工事

費 目	工 種	備考	管理 数値	積算 数量	単位	備 考
ひび割れ補修工						
ひび割れ補修工						
	ひび割れ注入工	低圧注入工法 注入材=1.58kg 注入器具N=32本 エポキシ樹脂 シール材=0.81kg L=7.95m	1.0	1	構造物	図面及び数量計算書より
	ひび割れ充填工	充填工法 充填材=0.22kg ポリマーセメントモルタル V=0.0001m3 L=0.65m	1.0	1	構造物	"
断面修復工						
断面修復工						
	断面修復工	$V=(0.471+0.003+0.001) \times 1.18=0.56m^3$ 左官工法 ケレン・防錆有・無併用	1.0	1	構造物	図面及び数量計算書より
	殻運搬・処理	無筋コンクリート殻	0.5	1	m3	" 雑工で計上
水切り材設置工						
水切り材設置工		EPDM系ゴム	22.3	22	m	図面及び 数量計算書より
橋面補修工						
橋面防水工		塗膜系防水	46.5	47	m2	図面及び 数量計算書より
舗装打替え工 (橋梁部)						
	Co舗装版破碎工		46.5	47	m2	図面及び 数量計算書より
	殻運搬・処理	無筋コンクリート殻	2.7	3	m3	" 雑工で計上
	表層工	t=30mm	46.5	47	m2	"
	基層工	t=30mm	46.5	47	m2	"
舗装打替え工 (取付道路)						
	AS舗装版切断工		17.6	18	m	図面及び 数量計算書より
	AS舗装版破碎工		34.8	35	m2	"
	殻運搬・処理	AS殻	1.7	2	m3	" 雑工で計上
	表層工	t=40mm	34.8	35	m2	"
	上層路盤工	t=70mm	34.8	35	m2	"
	下層路盤工	t=100mm	34.8	35	m2	"

数量及び延長調書

No2

令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋 修繕工事

費 目	工 種	備考	管理 数値	積算 数量	単位	備 考
表面保護工						
表面含浸工						
	下地処理工	高圧洗浄	94.4	94	m2	図面及び 数量計算書より
	含浸材塗布工	含浸材 アクアシーラ1400含む シラン系	94.4	94	m2	"
流末処理工						
排水管改良工						
	排水管設置工	VPΦ75	3.1	3	m	図面及び 数量計算書より
	アンカーボルト 設置工		24.0	24	本	"
	排水管	VP75 L=2.4m	2.4	2	m	"
	ソケット	DSΦ75	4.0	4	個	"
	フランジ掃除口	DSΦ75	6.0	6	個	"
	アンカーボルト	M6、スリーブ打込み式	24.0	24	本	"
	排水管取付金具	後施工アンカーM12×100 ボルトナット M12×40 含む	4.0	4	組	"
	エポキシ樹脂 シーラ材	0.01m3=1缶	1.0	1	缶	"
	排水目皿		6.0	6	枚	"
支承補修工						
塗替塗装工						
	素地調整		0.9	1	m2	図面及び 数量計算書より
	下塗り工	有機ジンクリッチペイン	0.9	1	m2	"
	下塗り工	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗(2層)	0.9	1	m2	"
	中塗り工	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	0.9	1	m2	"
	上塗り工	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗	0.9	1	m2	"
	現場発生品運搬	L=32.6km ブラスト処理	0.04	0.04	t	"
	溶出試験		1.0	1	検体	
伸縮装置設置工						
伸縮装置設置工						
	A1橋台側	ラッピングシートA=13.9m2	10.8	11	m	図面及び 数量計算書より
	A2橋台側	地覆シーラA=0.5m2=0.3ℓ ラッピングシートA=4.2m2	3.6	4	m	"
	Co舗装版切断工		14.4	14	m	"
	Co舗装版破碎工	4.48+1.60=6.08	6.0	6	m2	"
	殻運搬・処理	無筋コンクリート殻	0.5	0.5	m3	" 雑工で計上

No3

令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋 修繕工事

[illegible]

7.1 数量総括表

(その1)

	項目		規格、材質	単位	数量	備考
上部工補修工	コンクリート部材補修工	ひびわれ注入工	注入延長	m	7.95	エポキシ樹脂系注入材3種
			シール材重量	kg	0.81	
			注入器本数	本	32	250ピッチ
			注入材重量	kg	1.58	
		ひび割れ充填工	充填延長	m	0.65	ポリマーセメントモルタル
			充填量	m3	0.0001	
			充填材重量	kg	0.22	
		断面修復工 (左官工法)	ポリマーセメントモルタル	m2	5.23	
			t=90mm	m3	0.471	防錆処理有り
			ポリマーセメントモルタル	m2	0.10	
			t=30mm	m3	0.003	防錆処理無し
	水切り設置工	水切り	EPDM系ゴム	m	22.30	
橋面補修工	コンクリート部材補修工	断面修復工 (左官工法)	ポリマーセメントモルタル	m2	0.04	
			t=30mm	m3	0.001	防錆処理無し
	橋面防水工	防水層	塗膜系防水	m2	46.5	
		縦断排水管	スプリング管φ18	m	22.1	ステンレス製
		横断排水管	スプリング管φ18	m	14.1	ステンレス製
		排水管合計		m	36.2	
		排水管：100m2当り		m	77.7	
		成型目地材		m	36.5	
		成型目地材：100m2当り		m	78.3	セロシールSS同等品
	舗装打換え工 (橋梁部)	舗装版破碎工	コンクリート舗装	m2	46.5	
		廃材運搬・処分工	コンクリート殻	m3	2.7	
		舗装工	密粒度ギャップアスコン t=30mm	m2	46.5	表層
			再生密粒度アスコン t=30mm	m2	46.5	基層
	舗装打換え工 (取付道路)	舗装版切断工	アスファルト舗装t=15cm以下	m	17.6	
		舗装版破碎工	アスファルト舗装	m2	34.8	
		廃材運搬・処分工	アスファルト殻	m3	1.7	
		舗装工	再生密粒度アスコン t=40mm	m2	34.8	表層
			粒調砕石 t=70mm	m2	34.8	上層路盤
			RC-30 t=100mm	m2	34.8	下層路盤

(その2)

表面含浸工		下地処理工		m2	94.3	
		含浸材塗布工	シラン系表面含浸材	m2	94.3	
			標準仕様：W=0.22kg/m ² 以上	kg	20.8	
流末処理工	排水管改良工	排水管設置工	VP75	m	3.1	
		コンクリートアンカーボルト設置工		本	24.0	4本/箇所×6
		排水管	VP75	m	2.4	0.61×4
		ソケット	DSφ75	個	4.0	
		フランジ掃除口	COφ75	個	6.0	
		アンカーボルト	M6, スリーブ打込み式	本	24.0	4本/箇所×6
		排水管取付金具		組	4.000	
		エポキシ樹脂シール材		m3	0.0001	
		排水目皿		枚	6	
支承補修工		塗替え塗装工	Re-I 塗装系	m2	0.99	
伸縮装置設置工		ブチルゴム合材		kg	1088.60	
		ラッピングシート		m2	18.10	
		地覆シール		m2	0.50	ℓ=0.3ℓ
防護柵取替え工	防護柵新設工	防護柵	特注品	m	21.90	
		ベースプレート		枚	14.00	標準部
				枚	2.00	屈折部
		アンカーボルト		本	64.00	
		防蝕キャップ		m	64.00	
		鉄筋探索工		m2	0.3	
	防護柵撤去工	防護柵撤去工	鋼製防護柵	m	22.23	
仮設工 (案)	足場工	主桁・床版足場	桁高h<1.5m	m2	46.3	TYPE-A1
		片側防護柵足場		m2	21.7	TYPE-E

1構造物あたり

※	ひび割れ注入工	注入延べ延長		m	7.9	
		シール材延べ重量		kg	0.8	
		注入器延べ本数		本	32	
		注入材延べ重量		kg	1.5	
※	断面修復工			m3	0.471	
	左官工法					
	防錆処理あり					
※	断面修復工			m3	0.003	
	左官工法			m3	0.001	
	防錆処理なし					
			(0.471+0.004) × 1.18=0.561			※0.18 (ロス率)

7.2 数量計算書

7.2.1 上部エコンクリート部材補修工

ひびわれ注入工

・ ひびわれ幅1.0mm未満

※コンクリート部材補修図（2-2）参照

補修項目	仕 様	単位	数 量	備 考
ひびわれ注入工	注入延長	m	7.95	エポキシ樹脂系注入材3種
	シーラ材重量	kg	0.81	
	注入器本数	本	32	250ピッチ
	注入材重量	kg	1.58	

・ 注入延長

$$\Sigma L = 7.950 \quad = 7.950 \text{ m}$$

・ シーラ材重量： $W = 0.03(\text{m}) \times 0.002(\text{m}) \times L(\text{m}) \times 1700(\text{kg/m}^3)$

$$W = 0.030 \times 0.002 \times 7.95 \times 1700 = 0.811 \text{ kg}$$

・ 注入器本数

$$N = 7.95 \div 0.250 = 32 \text{ 本}$$

・ 注入材重量： $N(\text{本}) \times 0.043(\text{kg}) \times 1.15(\text{ロス率})$

$$W = 32 \times 0.043 \times 1.15 = 1.582 \text{ kg}$$

ひび割れ充填工

・ 遊離石灰

※コンクリート部材補修図（2-2）参照

補修項目	仕 様	単位	数 量	備 考
ひびわれ充填工	充填延長	m	0.65	ポリマーセメントモルタル
	充填量	m ³	0.0001	
	充填材重量	kg	0.22	※1.20（ロス率）

・ 充填延長

$$\Sigma L = 0.650 \quad = 0.650 \text{ m}$$

・ 充填量

$$\Sigma A = 0.650 \times 0.010 \text{ (充填幅)} = 0.006 \text{ m}^2$$

$$\Sigma V = 0.006 \times 0.015 \text{ (充填深)} = 0.00009 \text{ m}^3$$

$$\approx 0.0001 \text{ m}^3$$

・ 充填材重量

$$W = 0.0001 \times 1875 \times 1.20 = 0.225 \text{ kg}$$

断面修復工：左官工法

・ 断面修復工：小断面（ $t=90\text{mm}$ ） 防錆処理有り

※コンクリート部材補修図（2-2）参照

補修項目	仕 様	単位	数 量	備 考
断面修復工	ポリマーセメントモルタル	m ²	5.23	※コンクリート補修図参照
	$t=90\text{mm}$	m ³	0.47	

合計（ $t = 90 \text{ mm}$ ）

$$\Sigma A = 1.113 + 4.124 = 5.237 \text{ m}^2$$

$$\Sigma V = 5.237 \times 0.090 = 0.471 \text{ m}^3$$

・断面修復工：小断面（t=30mm） 防錆処理無し ※コンクリート部材補修図（2-2）参照

補修項目	仕 様	単位	数 量	備 考
断面修復工	ポリマーセメントモルタル	m ²	0.10	※コンクリート補修図参照
	t=30mm	m ³	0.003	

合計（ t= 30 mm）

$$\Sigma A = 0.105 \qquad \qquad \qquad = 0.105 \text{ m}^2$$

$$\Sigma V = 0.105 \times 0.03 \qquad \qquad \qquad = 0.003 \text{ m}^3$$

7.2.2 水切り設置工

※水切り設置工図参照

補修項目	仕 様	単位	数 量	備 考
水切り	EPDM系ゴム	m	22.30	

水切り = 22.300 m

7.2.3 橋面コンクリート部材補修工

断面修復工

・断面修復工：小断面（t=30mm） 防錆処理無し ※コンクリート部材補修図（2-1）参照

補修項目	仕 様	単位	数 量	備 考
断面修復工	ポリマーセメントモルタル	m2	0.04	※コンクリート部材補修図参照
	t=30mm	m3	0.001	

合計（ t= 30 mm）

$\Sigma A= 0.045$ = 0.045 m2

$\Sigma V= 0.045 \times 0.03$ = 0.001 m3

7.2.4 橋面防水工

※橋面工補修図参照

補修項目	仕 様	単位	数 量	備 考
防水層	塗膜系防水	m ²	46.5	
縦断排水管	スプリング管φ18	m	22.1	ステンレス製
横断排水管	スプリング管φ18	m	14.1	ステンレス製
排水管合計		m	36.2	
排水管：100m ² 当り		m	77.7	
成型目地材		m	36.5	
成型目地材：100m ² 当り		m	78.3	セロシールSS同等品

$$\text{防水層} \quad (10.800 + 3.600) \times 3.395 \times 1/2 + 3.600 \times 6.150 = 46.58 \text{ m}^2$$

$$\text{縦断排水管長} \quad 11.060 \times 2 = 22.12 \text{ m}$$

$$\text{横断排水管長} \quad 10.680 + 3.500 = 14.18 \text{ m}$$

$$\text{合計：排水管} \quad = 36.20 \text{ m}$$

$$100\text{m}^2\text{当り：排水管} \quad 36.200 \times 100 / 46.584 = 77.71 \text{ m}$$

$$\text{成型目地材} \quad 10.800 + 3.600 + (4.906 + 6.150) \times 2 = 36.51 \text{ m}$$

$$100\text{m}^2\text{当り：目地材} \quad 36.510 \times 100 / 46.584 = 78.37 \text{ m}$$

7.2.5 舗装打替え工（橋梁部）

※橋面工補修図参照

補修項目	仕 様	単位	数 量	備 考
舗装版破砕工	コンクリート舗装	m2	46.5	
廃材運搬・処分工	コンクリート殻	m3	2.7	
舗装工	密粒度キヤップアスコン t=30mm	m2	46.5	表層
	再生密粒度アスコン t=30mm	m2	46.5	基層

鋪裝版破碎工

コンクリート舗装 $(10.800 + 3.600) \times 3.395 \times 1/2 + 3.600 \times 6.150 = 46.58 \text{ m}^2$

廢材運搬・殼処分

$$\text{コンクリート} \quad 46.58 \times 0.060 = 2.79 \text{ m}^3$$

鋪装工

アスファルト舗装 $(10.800 + 3.600) \times 3.395 \times 1/2 + 3.600 \times 6.150 = 46.58 \text{ m}^2$

7.2.6 舗装打替え工（取付道路）

※橋面工補修図参照

補修項目	仕 様	単位	数 量	備 考
舗装版切断工	アスファルト舗装t=15cm以下	m	17.6	
舗装版破碎工	アスファルト舗装	m ²	34.8	
廃材運搬・処分工	アスファルト殻	m ³	1.7	
舗装工	再生密粒度アスコン t=40mm	m ²	34.8	表層
	粒調碎石 t=70mm	m ²	34.8	上層路盤
	RC-30 t=100mm	m ²	34.8	下層路盤

$$\text{舗装版切断工} \quad 11.600 + 3.000 \times 2 = 17.60 \text{ m}$$

舗装版破碎工

$$\text{アスファルト舗装} \quad 11.600 \times 3.000 = 34.80 \text{ m}^2$$

廃材運搬・殻処分

$$\text{コンクリート} \quad 34.80 \times 0.050 = 1.74 \text{ m}^3$$

舗装工

$$\text{アスファルト舗装} \quad 11.600 \times 3.000 = 34.80 \text{ m}^2$$

7.2.7 表面含浸工

※表面保護工図参照

項 目	仕 様	単 位	数 量	備 考
下地処理工		m2	94.3	
含浸材塗布工	シラン系表面含浸材	m2	94.3	
含浸材	アクアシール1400	kg	20.8	

シラン系表面含浸材

下地处理工 $\Sigma A =$ $= 94.38 \text{ m}^2$

含浸材塗布工 $\Sigma A =$ = 94.38 m²

$$\text{含浸材} \quad W = 94.38 \times 0.22 = 20.8 \text{ kg}$$

※数量算出は、表面保護工図参照

※標準仕様：W=0.22kg/m²以上

※推奨材料：NETIS登録-No. KT-070047-VR【アクアシール1400】

※推奨材料と同等品以上とする。

7.2.8 流末処理工

※流末処理工参考図参照

補修項目	仕 様	単位	数 量	備 考
排水管設置工	VP75	m	3.120	
コンクリートアンカーボルト設置工		本	24	4本/箇所×6
排水管	VP75	m	2.44	0.61×4
ソケット	DS φ 75	個	4	
フランジ掃除口	C0 φ 75	個	6	
アンカーボルト	M6, スリーブ打込み式	本	24	4本/箇所×6
排水管取付金具		組	4	
エポキシ樹脂シール材		m3	0.0001	1缶
排水目皿		枚	6	

$$\text{エポキシ樹脂シール材 } 1 \div 2 \times 0.010 \times 0.010 \times 3.14 \times 0.133 \times 6 = 0.0001 \text{ m}^3$$

7.2.9 支承補修工

※支承補修工図参照

補修項目	仕 様	単位	数 量	備 考
塗替え塗装工	Rc- I 塗装系	m2	0.99	

塗替え塗装工 = 0.990 m2

7.2.10 伸縮装置設置工

※伸縮装置設置工図参照

補修項目	仕 様	単 位	数 量	備 考
ブチルゴム合材		kg	1088.6	
ラッピングシート		m2	18.1	
地覆シール		m2	0.5	$\ell=0.3$

数量表 (A1側t=100mm、A2側t=60mm)

14.4m (10.8m, 3.6m) 当り

名 称	単 位	数 量			摘 要
		A1	A2	計	
ブチルゴム合材	kg	907.2	181.4	1088.6	A1: $0.40 \times 0.10 \times 10.80 \times 2100 \text{kg/m}^3$
					A2: $0.40 \times 0.06 \times 3.60 \times 2100 \text{kg/m}^3$
ラッピングシート	m2	13.9	4.2	18.1	A1: $(10.80 \times (0.40+0.10+0.04) \times 2) \times 1.2$
					A2: $(3.60 \times (0.40+0.10+0.04) \times 2) \times 1.2$
ラッピングシート	m2		0.5	0.5	
					A2: $0.25 \times 2 \text{箇所}$

※1.2はロス率

7.2.11 防護柵取替え工

※防護柵補修工図参照

補修項目	仕 様	単位	数 量	備 考
防護柵	特注品	m	21.9	
支柱アンカー設置工		m	21.9	
ベースプレート		枚	14	標準部
		枚	2	屈折部
アンカーボルト		本	64	
防蝕キャップ		m	64	
鉄筋探査工		m2	0.3	
防護柵撤去工	鋼製防護柵	m	22.2	

$$\text{防護柵} \quad (4.680 + 6.270) \times 2 = 21.90 \text{ m}$$

$$\text{支柱アンカー設置工} \quad (4.680 + 6.270) \times 2 = 21.90 \text{ m}$$

$$\text{アンカーボルト} \quad 4 \times 16 = 64 \text{ 本}$$

$$\text{防蝕キャップ} \quad 4 \times 16 = 64 \text{ 本}$$

$$\text{鉄筋探査工} \quad 0.140 \times 0.14 \times 16 = 0.31 \text{ m}^2$$

$$\text{防護柵撤去工} \quad (4.764 + 6.349) \times 2 = 22.23 \text{ m}$$

7.2.12 仮設工（案）

補修用足場工

※補修用足場参考図参照

項目	規格	単位	数量	備考
主桁・床版足場	桁高h<1.5m	m ²	46.3	TYPE-A1
片側防護柵足場		m ²	21.7	TYPE-E

$$\begin{aligned} \text{吊足場} &= 4.000 \times 5.667 + (4.000 + 11.600) \\ &\quad \times \frac{1}{2} \times 3.033 = 46.32 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{片側防護柵足場} &= (0.800 + 0.450) \times 8.700 \times 2 \\ &= 21.75 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

見積単価比較表

令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋 修繕工事

資材名	規格	単位				採用単価 (平均価格)	備 考
低圧注入器具	1	個				490	
EPDMスポンジ (ウォーターカッター)	1	m				1,720	
アクアシール1400	1	kg				8,550	
ラッピングシート	1	m2				14,200	
DVソケット	1	個				380	
フランジ掃除口	1	個				1,620	
アンカーボルト M6×60	1	本				220	
取付金具 (VP75用)	1	組				11,800	
エポキシ樹脂系シール 材	1	缶				4,100	
排水目皿(SS400)	1	枚				7,000	
転落防止柵	1	m				14,100	
ブラスト材	1	kg				70	
有機ジンクリッチペイント	1	セット				128,250	
弱溶剤形変性エポキシ 樹脂塗料(グレー)	1	セット				30,000	
弱溶剤形変性エポキシ 樹脂塗料(ブラウン)	1	セット				30,000	
弱溶剤形ふっ素樹脂塗 料用中塗(淡彩色)	1	セット				34,100	
弱溶剤形ふっ素樹脂塗 料用(淡彩色)	1	本				57,300	
ホークアンカーボルト	1	組				700	
防食保護キャップ	1	個				260	

特記仕様書

(総則)

第1条 この特記仕様書は、次の工事に適用する。

- (1) 工事名：令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋 修繕工事
- (2) 工事場所：阿久根市 大川 地内
- (3) 工期：175 日間

第2条 この工事は、契約図書及び図面によるほか、この特記仕様書並びに下記仕様書等その他諸法を遵守し施工しなければならない。

なお、本特記仕様書及び共通仕様書、要項、指針、示方書（最新版）に記載されていない事項で疑義が生じた場合は、別紙「工事打合簿」により監督職員（以下「甲」とする。）と協議し、かつその指示に従うこと。

- (1) 土木工事共通仕様書
- (2) 土木工事施工管理基準
- (3) 土木請負工事必携
- (4) 道路事業の手引き（鹿児島県土木部制定）
- (5) 建設副産物摘要処理推進要綱
- (6) 土木工事安全施工技術指針
- (7) その他関係要項、指針及び示方書等

第3条 この工事の契約数量は、設計図書のとおりとする。

なお、この数量に変更を生じた場合は、甲乙協議の上、契約変更の対象とする。ただし、出来形等に係る設計値は図面及び構造物調書のとおりとする。

第4条 契約の保証は、当初設計金額が500万円を超える場合、金銭的補償を要す。

(前払金)

第5条 保証事業会社の保証がなされている請負金額500万円以上のものについては、請負金額の10分の4以内で前払金を請求することができる。

なお、当初設計において前記の前払金を受けるものとして一般管理費の率を計上してあるが、前払金を受けない場合でも、一般管理費の率は変更の対象としない。

(工事カルテ作成・登録)

第6条 請負者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、実績情報システム（CORINS）に基づき、受注・変更及び完成

時に工事实績情報として「通知書」を作成し監督職員の確認を受けた上、受注時は契約後 10 日以内（土、日、祝日等が重なる場合はその前日まで）に、登録内容の変更時は変更があった日から 10 日以内（土、日、祝日等が重なる場合はその前日まで）に、完成時は工事完成後 10 日以内（土、日、祝日等が重なる場合はその前日まで）に（財）日本建設情報総合センターに登録しなければならない。

変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金 2500 万円を超えて変更する場合には変更時登録を行うものとする。

登録完了後は、（財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」を、直ちに監督職員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

（技術者）

第 7 条 請負者は、測量・調査・施工管理及び検査のために専属して経験のある技術者を常に配置し、監督職員の指示に応じなければならない。

（監理技術者）

第 8 条 本工事で監理技術者を通知する場合は「監理技術者講習修了証」の写しを提出するものとする。対象者は平成 16 年 3 月 1 日以降に監理技術者資格者証を新規交付された者又は更新交付された者とする。なお、平成 16 年 2 月 29 日以前に監理技術者証を交付された者は対象外とする。

（監理技術者等の選任を要しない期間）

第 9 条 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、打合せ記録簿により明確となっていることを条件に、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定めること。

2 工事完成後、検査が終了し、事務手続及び後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日（「工事目的物引受書」等における日付）とする。

（配置技術者等の途中交代）

第 10 条 配置技術者の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、傷病又は退職等、真にやむを得ない場合のほか、下記に該当する場合である。

- ・ 請負者の責によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合。

- 2 前1項の場合にあっても、請負者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。

(現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合)

第11条 現場代理人は現場に常駐し、その運営及び取締りを行うこととされているが、以下のいずれかの要件を満たす場合に、工事請負契約書第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」ものとして取扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や現場保全の義務(現場の巡回等)があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。

- (1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間。
- (2) 工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間。
- (3) 橋梁、ポンプ、ゲート又はエレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間。また、同一工場内でほかの同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の現場代理人が、これらの製作を一括して運営及び取締りを行うことができるものとする。
- (4) 前3号に掲げる期間のほか、請負者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続及び後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間。

2 発注者への報告

前1項の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐を不要とし、外の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合せ簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。

(現場代理人の兼任)

第12条 現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項(請負代金の変更、契約の解除等を除く。)を処理する受注者の代理人であるが、次の(1)から(5)のすべてを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。

また、主たる工種が区画線工事の場合、次の(1)、(2)及び(6)の全てを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合は工事現場の兼任を認めるものとする。

なお、専任の主任(監理)技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、(2)、(4)、(5)の要件を満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。

- (1) 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の請負金額が4,500万円未満であること。ただし、設計変更により、工事の請負金額が4,500万円以上となり、各々の工事における主任（監理）技術者と現場代理人が異なる場合においては、受発注者協議の上、兼任することが出来る。
- (2) 発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡をとれること。
- (3) 兼任する工事の相互の移動は、概ね1時間以内であること。
- (4) 発注者又は監督員が求めた場合には工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。
- (5) 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。
- (6) 兼任する現場代理人は、必ず担当する工事現場のいずれに常駐するとともに、それぞれの現場稼働日は重複しないこと。

2 手続き

現場代理人の兼任を行う場合には、「兼任（変更）申請書」（別紙1）を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、「現場代理人等選任（変更）通知書」により、発注者に通知すること。

なお、それぞれの工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。

3 受注者に対する措置請求

安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置をとるべきことを請求するものとする。

（施工体制台帳の作成等について）

第13条 本工事の請負者は、建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請け工事の着手前までに）提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について作成し提出すること。

（施工体系図の作成等について）

第14条 本工事の請負者は、工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の(1)から(4)の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事または業務の着手前までに）提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度変更に関する事項について作成し提出すること。

- (1) 伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務
- (2) 土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務

- (3) 工事現場の警備（交通誘導を含む）を行う業務
- (4) その他監督職員が記載を指示した業務等

(工事の施工)

第 15 条 工事着手にあたっては、地元区長及び近隣住民への周知を徹底すること。

- 2 着工前測量を実施し、その結果を報告するとともに設計図書と相違があった場合は監督員と協議すること。

(国土調査の基準点等測量標識等の保全)

第 16 条 施工区域内に国土調査の基準点等測量標識等がある場合は、その取扱いについて監督員に指示を仰ぐとともに、施工前に設置者と協議すること。

(管内（県内）建設業者の優先使用)

第 17 条 請負業者は、工事の一部を下請に付する場合は、北薩地域振興局管内に主たる営業所を有するものを使用するよう努めることとする。

- 2 請負業者は、前項で定めた建設業者を活用しない場合は、施工計画書等の提出と併せて「下請工事における管内建設業者等付活用状況報告書」を監督職員に提出すること。
- 3 請負業者は、工事完成時及び監督員から指示された場合、「下請業者使用実績報告書」を監督員に提出すること。

(県産資材の優先使用について)

第 18 条 工事に使用する資材については、県内で産出、生産又は製造されたもの（以下「県産資材」という。）の優先使用に努めることとし、さらに、県産資材以外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から調達するよう努めることとする。

- 2 請負業者「材料使用承認願」において、全ての資材について県産資材使用の湯無を記載するとともに、以下に記載する「指定主要資材」の中で県産資材を使用しない場合は、「県産資材等不使用状況報告書」を監督員に提出し、承諾を得なければならない。

指定主要資材 （ 7 品 目 ）	生コン（レディミクストコンクリート） コンクリート二次製品 石材類 アスファルト合材 木材 樹木 野芝
---------------------	---

- 3 前項で定めた不使用状況報告書において、第 1 項で定めた資材業者から調達しない場合は、その理由を記載すること。
- 4 請負業者は、工事完成時及び監督員から指示された場合、「建設資材使用実績報告書」を監督員に提出すること。

(現場発生品)

第 19 条 下記現場発生品については、監督職員に確認の上、搬入場所へ搬入又はスクラップを行うものとする。

資材名	規格	数量	搬入場所
既設防護柵	Φ60	19.8 km	小畑商店
ブラスト材処理		32.6 km	エコパーク鹿児島

~~（支給品）~~

~~第 20 条 下記現場支給品については、監督職員に確認の上、保管場所から搬入場所へ搬入を行うものとする。~~

資材名	規格	数量	保管場所

（特定建設資材の分別解体等・再資源化等）

第 21 条 本工事は建設リサイクル法に規定されている特定建設資材及び特定建設資材廃棄物が含まれているので、適正な措置を講ずること。なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

(1) 分別解体等の方法（参考）

工程ごとの作業内容・解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法（※）
	仮設	仮設工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	土工	土工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	基礎	基礎工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	本体付属品	本体付属品の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	その他	その他の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

※ 「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

(2) 再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地	運搬距離
無筋コンクリート	ツカサ	阿久根市鶴川内	L=15.2 km
鉄筋コンクリート	-	-	-
アスファルト	ツカサ	阿久根市鶴川内	L=15.2 km

※ 上記(2)については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものではない事項についてはこの限りではない。

(建設副産物の処理)

第 22 条 建設工事の施工により発生する指定副産物（コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、建設発生木材、汚泥（建設発生土は除く。）等。）のうち、処分の指定のない無筋コンクリート殻については、30 cm以下に小割し、盛土区間等で使用すること。その他については再資源化施設へ搬出すること。また、運搬に先立っては受入条件等を確認し、発注者に報告するものとする。なお、積算に際しては、前条第 1 項第 2 号に示す条件により積算している。

2 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に写しを提出しなければならない。また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

3 処分状況等の記録（再生資源利用促進実施書及びマニフェスト（E 票）の写し及び産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表）を完成書類に添付すること。なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E 票が処分業者から返送されていない場合は、A 票、B 2 票及び D 票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E 票が処分業者から返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。

4 工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議の上、その指示によること。

5 再生資材の利用

受注者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

資材名	規格	備考
-----	----	----

再生加熱アスファルト混合物	再生密粒	AS 舗装
再生砕石	R C - 30	下層路盤
再生砕石	R C - 40	

なお、使用に際し、「プラント再生舗装技術指針」等を遵守すること。

- 6 受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に写しを提出しなければならない。
- また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。さらに、利用状況等の記録を完成書類に含めて提出すること。
- 7 工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議の上、その指示によること。

(産業廃棄物税)

第 23 条 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。

~~—(建設発生土の処理)—~~

~~第24条 建設発生土の処理 (指定処分)—~~

- ~~1) 本工事の施工により発生する建設発生土は、下記により搬出すること。~~
- ~~—— (1) 運 搬 距 離 : ————~~
- ~~—— (2) 運 搬 場 所 : ————~~
- ~~2) 再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出すること。~~
- ~~3) 処分状況の記録を完成書類に含めて提出すること。~~
- ~~4) 工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議の上、その指示によること。~~

(過積載等の防止)

第 25 条 ダンプトラック等による過積載等の防止について以下のことを遵守すること。

- (1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。
- (4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に出入りすることがないようにすること。
- (5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第 12 条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。

- (6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
- (7) 第1号から第6号のことにつき、下請契約における請負者を指導すること。

—(交通誘導員)—

第26条 本工事で配置する交通誘導員は、~~交通誘導警備業務に係る1、2級検定合格警備員、又は交通誘導に関して専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置すること。ただし、鹿児島県公安委員会が道路における危険を防止するため、交通誘導警備業務検定合格警備員の配置が必要と定めた路線において、交通誘導警備業務に従事する場合の交通誘導員は、交通誘導警備業務を行う場所ごとに1名以上は1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員を配置すること。なお、同一規制箇所では、交通誘導警備業務に従事する者全員を同一警備会社の警備員とすること。また、請負者は上記のことを示す資料を監督職員に現地着手前に提出すること。~~

資格	資格条件
交通誘導警備業務に係る 1級検定合格警備員 2級検定合格警備員	改正警備業法（H17.11.21 施工）における検定合格者
交通誘導に関し専門的な知識及び技術を有する警備員等	警備業法における基本教育及び業務別教育（警備法第二条第一項第二号の警備業務）を現に受けている者

(工事の施工)

第27条 本工事の施工にあたっての施工条件は図面や数量表を基にし、施工計画書の作成及び工事施工時において十分留意するものとする。なお、明示されている施工条件に変更が生じた場合は、契約変更の対象とする。また、工事実施期間中に派生した施工条件についても、甲乙協議の上契約変更の対象とする。

—(標準の機械経費（損料）が排出ガス対策型第3次基準値の建設機械の工種)—

第28条 ~~機械掘削におけるバックホウの機械経費（損料）の積算に関しては、第3次基準値により算出している。なお、受注者が第2次基準値以下の建設機械を使用し施工する場合は、使用する建設機械の機械経費（損料）に設計変更する。~~

—(床掘及び切土)—

第29条 ~~切土の法勾配は、設計図書に示した法勾配で仕上げるものとする。~~

~~2 監督職員の承認を受けず切りすぎた土量の増については変更契約の対象としない。~~

—(盛土及び埋戻)—

~~第 30 条 盛土は常に型下がりの横断形を保ち、土羽工を先行してはならない。~~

~~2 盛土施工中は常に雨水等による土砂流出を起こさないよう排水処理を考慮し施工すること。~~

~~3 埋戻前に漏水等ある場合は、必ず排水した後に埋戻をしなければならない。~~

~~(コンクリート工)~~

~~第 31 条 コンクリートの品質は下記のとおりとする。~~

種別	基準強度	スランプ	最大粒径	使用箇所
高炉セメント B 種	18N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

~~第 32 条 レディミクストコンクリートの工場は原則として J I S マーク表示許可工場を選定する。~~

~~第 33 条 現場までの運搬時間、コンクリートの製造能力、運搬車数、工場の製造設備及び品質管理状態を考慮して選定し監督職員に報告すること。~~

~~第 34 条 レディミクストコンクリートを使用するときは使用に先立ち試験練りを行いその結果を報告しなければならない。なお第 31 条に示すもの以外のものを使用する場合は監督職員の承諾を得ること。~~

~~第 35 条 コンクリート構造物については打設計画を作成し 1 日毎の打設計画管理を行うこと。~~

~~(セメントモルタル、コンクリート吹付工)~~

~~第 36 条 請負者は、セメントモルタル等の吹付けにあたっては、吹付け厚さが均等になるよう施工しなければならない。~~

~~2 請負者は、吹付面が岩盤の場合には、ごみ、泥土及び浮石等の吹付材の付着に害となるものは除去しなければならない。吹付面が給水性の場合は、事前に給水させなければならない。また、吹付面が土砂の場合は、吹付厚により土砂が散乱しないように打ち固めなければならない。~~

~~3 請負者は、吹付の施工に影響を及ぼす湧水が発生した場合、又はその恐れのある場合には施工方法について事前に監督職員と協議しなければならない。~~

~~4 請負者は、補強用金網の設置にあたっては、設計図書に示す仕上がり面からの間隔を確保し、かつ吹付等により移動しないように法面に固定しなければならない。また、金網の継手の重ね巾は 10 cm 以上重ねなければならない。~~

- ~~5 請負者は、吹付けにあたっては法面に直角に吹付けるものとし、法面の上部から順次下部へ吹付け、はね返り材料の上に吹付けてはならない。~~
- ~~6 請負者は、1日の作業の終了時及び休憩時には、吹付けの端部が次第に薄くなるように施工し、これに打継ぐ場合は、この部分のごみ、泥土等吹付材の付着に害となるものを除去し、清掃し、かつ湿らせてから吹付けなければならない。~~
- ~~7 請負者は、吹付仕上げ面及び吹付端部の施工に際しては、速度を遅くして仕上げなければならない。表面仕上げを行う場合には、吹付けた面とコンクリート又はセメントモルタル等が付着するように仕上げなければならない。~~
- ~~8 請負者は、吹付けに際しては、外の構造物を汚さないように、また、はね返り材料は速やかに取除いて不良箇所が生じないように施工しなければならない。~~
- ~~9 請負者は、吹付けを2層以上に分けて行う場合には、層間にはく離が生じないように施工しなければならない。~~
- ~~10 請負者は、吹付工の伸縮目地、水抜き孔を設計図書によるほか監督職員の指示により施工しなければならない。~~
- ~~11 請負者は、法肩の吹付けにあたっては、地山に巻き込んで施工しなければならない。~~
- ~~12 請負者は、2 m²に1か所程度の割合で水抜きパイプ（VP50）を取付けなければならない。~~
- ~~13 コンクリート吹付工の吹付モルタルの配合、モルタル吹付工等の吹付モルタルの配合は以下のとおりとする。~~

	W/C	$C:S:G$	$C:S$

(舗装工)

第37条 表層工

混合物敷均し後の締固めは振動ローラ又はタンパーで転圧しなければならない。

第38条 上層路盤工

材料まき出し後の締固めは車道部を振動ローラ又はタンパーで転圧しなければならない。

第39条 ~~その他~~

~~舗装工は「アスファルト舗装工事共通仕様書」によるものとする。管理基準は「土木工事施工管理基準のアスファルト舗装（簡易舗装）」による。~~

~~（排水工）~~

~~第 40 条 排水工の基礎工は切込砕石（再生材 40 mm 以下）の再生材を使用してタンパーにて十分転圧すること。~~

~~（環境保全型ブロック積）~~

~~第 41 条 環境保全型ブロック積の施工にあたっては、多自然型川づくりを念頭に現況を改変することなく良好な瀬淵環境を保全し、又は創出すること。~~

~~2 土工により河床を真っ平らに仕上げない。また、埋戻等により水際部を固めない。~~

~~3 水際には発生材により寄せ石及び寄せ土を行い、水生生物の住処づくりと植生回復を図ること。~~

~~4 周辺環境と調和したブロックを選定し、明度、彩度を抑えテクスチャーを持たせること。~~

（支障物件）

第 42 条 着工前測量により嵩上げ切下げ等が必要なマンホール等については、調査を行い速やかに監督職員へ報告すること。

（工事縮減期間）

第 43 条 下記の期間（予定）は、「鹿児島県域の路上工事縮減に関する行動計画」により、緊急対応等やむを得ない工事及び一時的な通行規制解除が困難な工事を除き、原則として路上工事（既に供用中の道路上で行われる、道路管理者及び占用企業者が行う通行規制を伴う工事）を中止することとする。工事中止期間については、予定であるため、詳細な日程が決まり次第請負者に通知するものとする。

中止する行事等	中止開始（予定）	中止終了（予定）
お盆	令和 7 年 8 月 8 日（金）	令和 7 年 8 月 17 日（日）
年末年始	令和 7 年 12 月 29 日（日）	令和 8 年 1 月 3 日（金）

（安全管理）

第 44 条 工事施設の安全を確保するため「土木工事安全施工技術指針」（全日本建設技術協会発行）によること。

第 45 条 労働安全衛生法、同法施行令及び同法施行規則を遵守すること。また、労働安全衛生規則「第二編第一二章土石流による危険の防止」の規定を遵守し施工計画書に明記すること。

第 46 条 道路法、道路交通法及び同法施工規則等を遵守し安全対策に努めること。

第 47 条 交通管理については道路標識板、バリケード、工事灯及び交通整理人の設置によって交通に与える影響を最小限にするよう作業計画、交通事故の絶無を期さなければならない。

2 看板は原則として、信号機の下に 1 か所、信号機より 30m 程度手前に 1 か所設置することとし、現場の状況等十分留意のうえ交通安全上必要な措置は講じること。

(書類提出)

第 48 条 下記に示すものは必ず現場代理人か現場監督員が持参のうえ提出するものとし、監督職員の承認を得ること。

(1) 工事契約 30 日以内

ア 請負工事契約約款第 4 条による横線式の工程表

イ 工事施工計画書

工事施工計画書については鹿児島県土木部制定「土木工事共通仕様書」「土木工事施工管理基準」に準じて作成し、必ず工事概要、工事内容、工事工程、現場組織、主要機械計画、主要材料、施工方法、測量計画管理、品質管理、出来高管理、写真管理、安全管理、仮設計画及び実施工程表を分かりやすく書きまとめるものとする。

(2) 生コンクリート打設前

生コンクリート使用承認及び配合報告書を提出する。

(3) アスファルト舗設前

アスファルト舗設前においては「基準密度承認願」にて承認を得ること。ただし、同時にマーシャル試験における「配合の承認」「使用骨材の承認」「瀝青材等の品質証明書」等を提出すること。

(4) 特記仕様書に指定していない二次製品の使用前

積ブロック、トラフ等特記仕様書に指定のない場合は必ず使用前に「材料使用の承認」と併せて「配合報告書」「品質証明書」を提出して承認を得ること。

(5) 工事の出来高報告書（工事月報）

毎月末日現在の出来高を作成して毎月 2 日までに提出すること。

(6) 完成検査前

ア 完成届

イ 提出書類

提出書類については写真整理、出来高管理及び品質管理を「土木工事施工管理基準」に従って順序良く製本しインデックス等を取付けること。特に写真整理については「土木工事施工管理基準」の写真管理基準によって撮影製本するものとする。

ウ 電子納品

本工事は、電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。

ここでいう電子成果品とは、「阿久根市電子納品ガイドライン（令和４年１月）」（以下「ガイドライン」という。）に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。

【阿久根市ウェブサイト】

ホーム > 市政情報 > 施策・計画 > 土木・建築・交通 > 電子納品
ガイドラインに基づき作成した電子成果品は、電子媒体で正本・副本各１部の計２部提出する。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定する。

(7) 検査後

検査写真には検査時における写真の代表的なものを添付する。また、併せて検査における破壊確認の写真、補修完了の写真を対比して添付すること。

(安全管理活動の実施状況報告)

第 49 条 安全管理活動については、実施状況等を毎月工事月報と併せて２日までに報告すること。

- (1) 現場に則した安全・訓練等について、工事着手後、原則として作業員全員の参加により月当たり半日以上の時間を割当て実施。
- (2) 災害防止（工事安全）協議会等を設置し、月当たり１回以上活動。
- (3) 店社パトロールを月当たり１回以上実施。
- (4) 安全巡視、TBM、KY等の実施。
- (5) 各種安全パトロールで指摘を受けた事項についての改善措置。

(熱中症対策に資する現場管理費の補正について)

第 50 条 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行対象工事である。

- ２ 試行にあたっては、「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について（令和２年１０月１３日付け技術管理室長通知）」に基づき行うものとする。
- ３ 「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について（令和２年１０月１３日付け技術管理室長通知）」は鹿児島県ホームページから取得できる。

(暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置)

第 51 条 鹿児島県が発注する建設工事等（以下「県工事等」という。）において、暴力団関係者による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく発注者及び警察に通報すること。県工事等において、暴力団関係者による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

(工事等の施工にあたって要する物品等の調達について)

第 52 条 資材、機械の購入や借入れ等をする場合は、可能な限り阿久根市内業者を優先して活用すること。

2 建設現場内における飲食のほか、現場事務所内で必要とされる事務用品等の購入は可能な限り市内業者から購入すること。

~~（工事等における遠隔臨場試行の推進にかかる運用について）~~

~~第 53 条 本工事は、遠隔臨場の試行対象とする。~~

~~遠隔臨場の試行は、「鹿児島県の公共工事等における遠隔臨場試行要領」により、受発注者いずれの発議でも打合せ簿による協議のうえ適用できる。~~

~~遠隔臨場は、受発注者の働き方改革に寄与するとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止にもつながることから試行を推進しており、現場立会のほか、日頃の工事打合せについても、積極的な遠隔臨場の取り組みに努めること。~~

~~なお、遠隔臨場の取り組みを行った場合は、必要となる費用を以下の(1)から(4)により設計変更で計上することとする。~~

~~（1）遠隔臨場に必要な費用は、共通仮設費の技術管理費に積上げ計上することとし、全ての諸経費の対象としない。~~

~~（2）遠隔臨場に要する機器等はリースを基本とし、遠隔臨場を行う工事で機器を利用した期間の賃料を計上できる。~~

~~（3）遠隔臨場に要する機器を購入した場合や手持ちの機器とした場合は、国税庁ホームページの耐用年数表に基づき損料を計上する。~~

~~※ 耐用年数例~~

~~タブレット、カメラ、アプリケーションソフト等：5年~~

~~Wi-Fi ルータ等通信機類：10年~~

~~（4）情報共有システム（ASP方式）のオプションとしてプロバイダが提供している遠隔臨場機能を利用する場合は、遠隔臨場機能（オプション契約分）を利用した期間の遠隔臨場機能利用料金を計上する。~~

（「週休 2 日」施行工事について）

第 54 条 本工事は「週休 2 日」施行工事の対象である。

2 施行に当たっては『「週休 2 日」施行工事実施要項』に基づき行うものとする。

3 実施要項は鹿児島県ホームページから取得し、これを準用する。

第 55 条 業務の実施にあたっては、「環境改善実施要領（業務編）」に基づき、受発注者相互に協力し、取り組むものとする。

（ヤンバルトサカヤスデのまん延防止）

第 56 条 ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入にあたっては、別添「ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策につい

て」を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの生息が確認された場合は、まん延防止対策を講ずる必要があるため、生息状況等の調査を行い、監督職員に報告すること。

【別添】

ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について

1 土・樹木等の措置

- (1) 発生地区からの搬出を極力抑えることを原則とする。
- (2) 廃棄樹木等については、一般廃棄物及び産業廃棄物の取扱いが可能な焼却施設で焼却処理する。

一般廃棄物：市町村の所管する焼却施設、業の許可を有している民間の焼却施設

産業廃棄物：業の許可を有している民間の焼却施設（産業廃棄物税が発生します。）

2 工事区域周辺部の措置

周辺部への拡散を防止するため、周辺部に薬剤散布等の措置を行う。

3 やむを得ず、土及び樹木等を発生地区から搬出する場合の措置

- (1) 薬剤処理・燻蒸処理後に搬出する。
- (2) 薬剤処理の困難な農作物等の搬出の場合は、付着土壌の除去及び目視除去後搬出する。

4 発生地区に搬入した建設機材や農・林業耕作機械の措置

付着土壌の除去及び薬剤処理後搬出する。

5 未発生地区での措置

発生地区からの土及び樹木等の搬入や農・林業耕作機械の移動等があった場合は、上記1～3の措置が講じられているかを確認する。

※ 奄美群島以外でヤンバルトサカヤスデの発生が確認されている地区

H11：南九州市（旧穎娃町、旧知覧町）
H14：指宿市（旧山川町）、屋久島町（旧屋久町）
H15：鹿児島市（旧吉田町）、日置市（旧吹上町）、枕崎市
H16：鹿児島市
H17：指宿市
H22：出水市、南さつま市
H25：霧島市、阿久根市
H26：鹿屋市、姶良市
H29：長島町
R 3：西之表市、中種子町、錦江町
R 4：肝付町、薩摩川内市、いちき串木野市、南大隅町
R 6：大崎町

材料使用承認願	
工 事 名	請 負 業 者 名
工 期	現 場 代 理 人
路 線 （ 河 川	総 括 監 督 員
工 事 箇 所 名	監 督 員

請負業者名

現場代理人

総括監督員

監 督 員

[illegible]

(別紙報告書)

安全・訓練等の実施状況報告書

工 事 名			請 負 者 名	
契 約 工 期	令和 年 月 日～令和 年 月 日(日間)			
実 施 日	所要時間	参加人数	実 施 内 容 等	

(注) 実施状況写真は別添のとおり。

工 事 打 合 簿

発 議 者	発注者 請負者	発 議 年 月 日	令和 年 月 日
発 議 事 項	指示 協議 通知 承諾 提出 報告 ☐ 届出 ☐ その他（ ）		
工 事 名		請 負 者 名	
(内 容)			
添付図 葉, その他添付図書			
処 理 ・ 回 答	発注者	上記について 指示 承諾 協議 通知 受理 します。 変更契約の対象となるので、別途変更指示書にて通知します。 緊急を要するものであるため、工事打合簿により指示します。 併せて、変更契約の対象となるので、別途変更指示書にて通知します。 その他（ ）	令和 年 月 日
	請負者	上記について 了解 協議 提出 報告 届出 します。 その他（ ）	

総 括 監督員	監 督 員

現 場 代理人	主 任 技 術 者

契約担当者

殿

請負者
商号又は名称
代表者の氏名

現場代理人の兼任（変更）申請書

下記工事について、現場代理人を兼任したいので（変更）申請します。
なお、両工事の施工に当たっては、関係法令等を遵守し、安全管理及び工程管理に留意します。

記

①兼任する工事 (県土木部工事)	主任技術者		
	現場代理人		
	工事名		
	工事場所		
	工期		
	請負金額(税込み)		
	現場代理人不在の間の緊急連絡先	氏名	
		連絡先	
②兼任する他の工事	主任技術者		
	現場代理人		
	工事名		
	工事場所		
	工期		
	請負金額(税込み)		
	発注機関名		
	監督員氏名		
	発注機関の連絡先		
③兼任する他の工事	主任技術者		
	現場代理人		
	工事名		
	工事場所		
	工期		
	請負金額(税込み)		
	発注機関名		
	監督員氏名		
	発注機関の連絡先		
工事現場の相互の 距離・移動時間	①-②	km	ㄥ
	①-③	km	ㄥ
	②-③	km	ㄥ

○添付書類：兼任する他の工事の当初契約書（写し）（※契約前の工事については後日提出）

○兼任する他の工事について、兼任の承認をうけていることがわかる書類の写しを後日提出すること

令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋 修繕工事
位置図

S=1:50,000

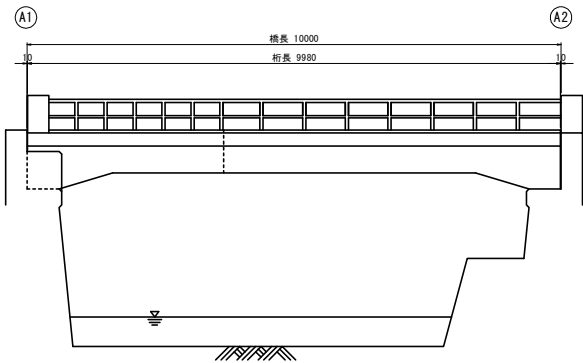


凡 例

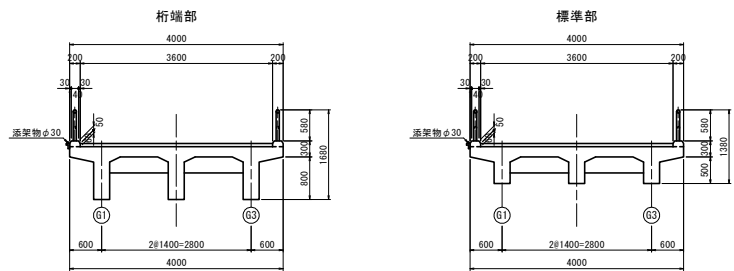
	国 道
	県 道

出羽橋 現況一般図

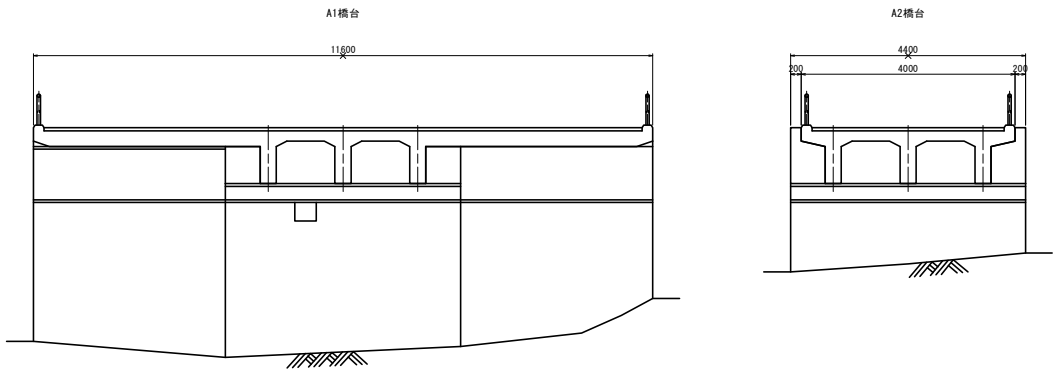
側面図 S=1:50



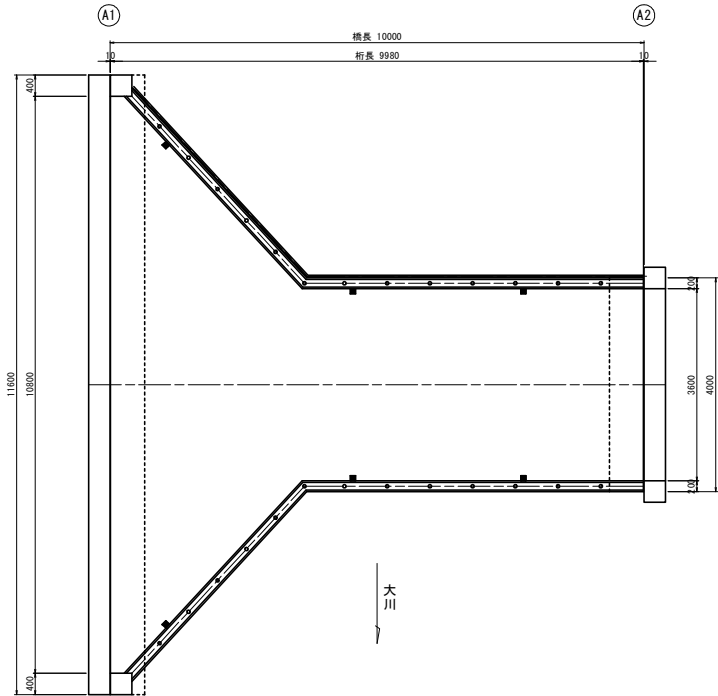
断面図 S=1:50



下部工正面図 S=1:50



平面図 S=1:50



橋梁諸元

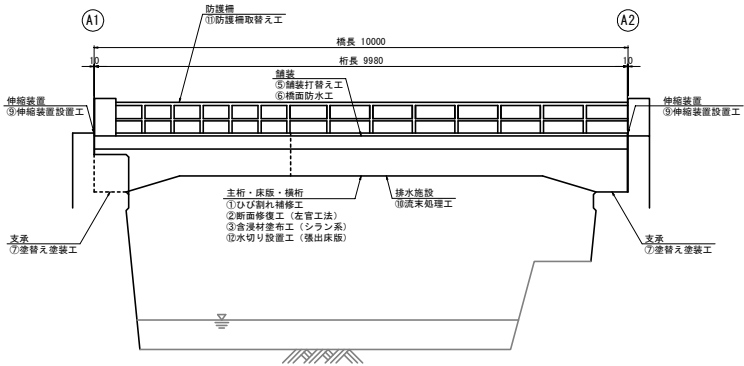
橋梁名	出羽橋
路線名	出羽線
場 所	大川字小鹿倉 地内
橋 長	10.00m
交差物件	河川（大川）
径間数	1径間
全幅員	4.00m（標準部）
斜 角	90° 00'
上部構造	RCT桁橋
下部構造	躯体形式 重力式橋台
基礎形式	不明
舗 装	コンクリート舗装
竣工年月	1961年（昭和36年）
塩害対策	200m以上（海岸線からの距離）
適用示方書	昭和31年制定 コンクリート標準示方書（推定）
補修歴等	補修履歴なし

実施設計図

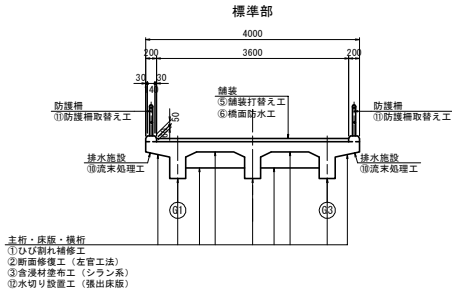
阿久根市	
工 事 名	令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋修繕工事
路 線 名	出羽線
工事箇所	阿久根市 大川 地内
図面種類	出羽橋 現況一般図
縮 尺	図 示
図面番号	全 13 葉 第 1 号

出羽橋 補修一般図

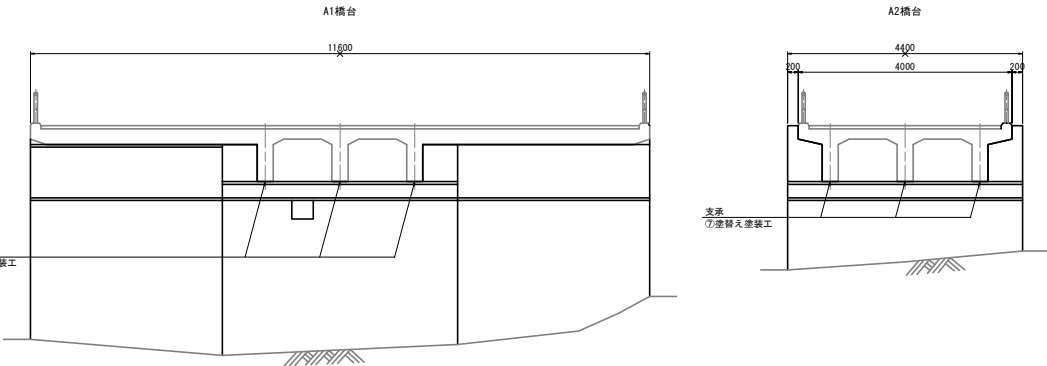
側面図 S=1:50



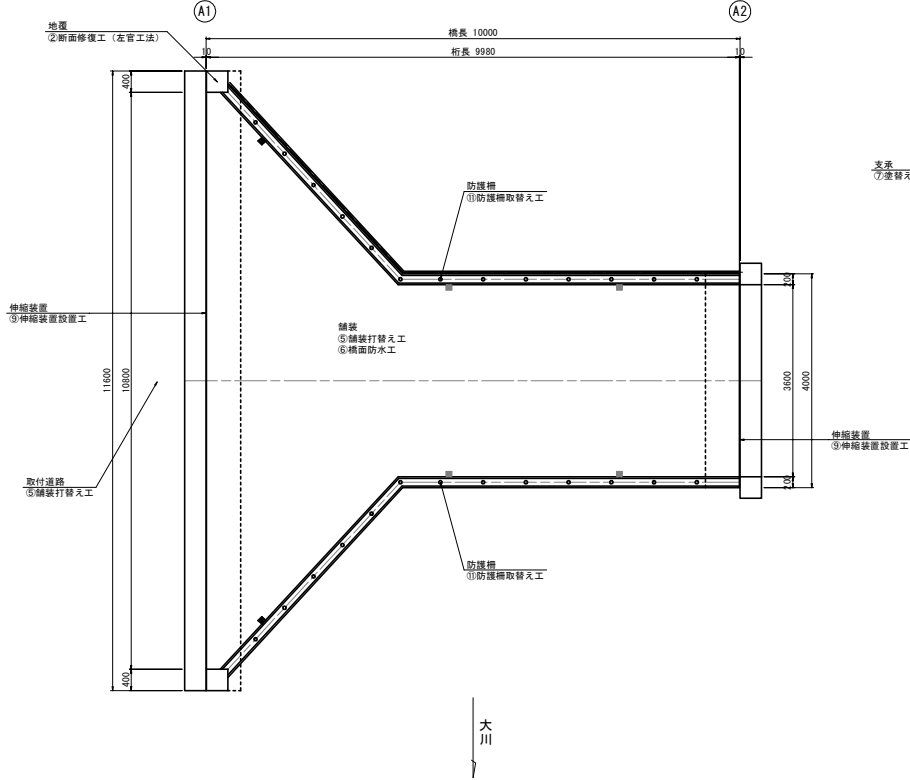
断面図 S=1:50



下部工正面図 S=1:50



平面図 S=1:50



出羽橋 補修・補強工法一覧

R C T 桁橋	
部材区分	補修工法
上部工	主桁・横桁
	① ひびわれ補修工
	② 断面修復工 (左官工法)
	③ 含浸材塗布工 (シラン系)
橋面工	床版
	① ひびわれ補修工
	② 断面修復工 (左官工法)
	③ 含浸材塗布工 (シラン系)
橋台	④ 水切り設置工
	⑤ 舗装打替え工
	⑥ 橋面防水工
	⑦ 伸縮装置設置工
下部工	橋台
	※経通観察 (5年毎の定期点検)
	支承
	⑧ 塗替え塗装工
その他	橋脚壁
	※経通観察 (5年毎の定期点検)
その他	取付道路
	⑨ 舗装打替え工

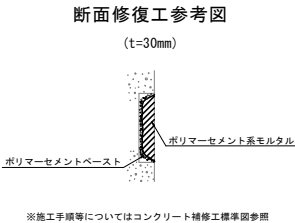
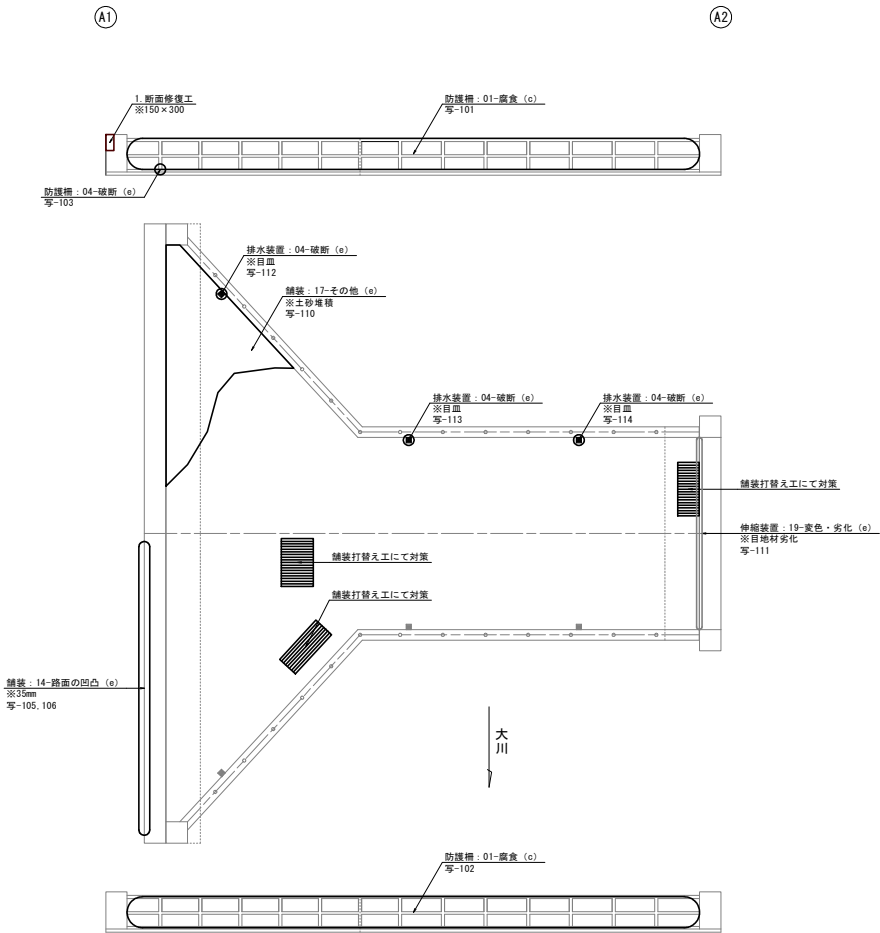
対策工法一覧表	
1	ひびわれ補修工
2	断面修復工
3	コンクリート表面保護工
4	耐荷力補強工
5	舗装打替え工
6	橋面防水工
7	防錆・防食工
8	支承補修工
9	伸縮装置補修工
10	排水装置設置工
11	防護柵取替工
12	水切り設置工
13	電気化学的防食工
14	落橋防止工
15	その他

特記① 施工前に必ず現況寸法実測を行い、損傷状況を再確認の上、設計図面との照合を行い、必要に応じて数量の見直しを行うこと。

実施設計図	
阿久根市	
工事名	令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋修繕工事
路線名	出羽線
工事箇所	阿久根市 大川 地内
図面種類	出羽橋 補修一般図
縮尺	図示
図面番号	全 13 葉 第 2 号

損 傷 の 凡 例			
損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		漏水・滞水	
剥 離		腐 食	
鉄筋露出		う き	
遊離石灰		その他	

コンクリート部材補修図(2-1) S=1:50
(橋 面)



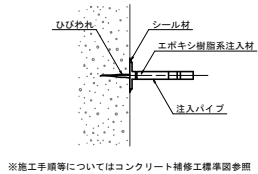
断面修復工 (t=30mm) ※ 左官工法			
欠損			
番号	寸法(m)	面積(m2)	写真番号
1	0.15 x 0.3	0.045	104
合計		0.045	

- 【留意事項】
- 施工時には現地計測を行い、その結果に基づき監督員と協議の上、数値を確定する事。
 - 内部鉄筋の腐食に起因しない変状のはつり深さは、定量的に30mmとして計上している。

実施設計図	
阿 久 根 市	
工 事 名	令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋修繕工事
路 線 名	出羽線
工事箇所	阿久根市 大川 地内
図面種類	コンクリート部材補修図(2-1)
縮 尺	図 示
図面番号	全 13 葉 第 3 号

損 傷 の 凡 例			
損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		漏水・滞水	
剥 離		腐 食	
鉄筋露出		う き	
遊離石灰		その他	

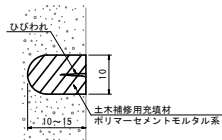
ひびわれ注入工参考図
(ひびわれ部：0.2mm～1.0mm未満)



※施工手順等についてはコンクリート補修工標準図参照

ひびわれ注入工			
番号	幅	長さ	写真番号
1	0.20	700	216
2	0.20	800	218
3	0.20	300	222
4	0.20	800	227
5	0.20	700	228
6	0.20	350	229
7	0.20	200	233
8	0.20	200	233
9	0.20	250	234
10	0.20	250	235
11	0.20	400	236
12	0.20	400	236
13	0.20	400	238
14	0.20	400	240
15	0.20	300	241
16	0.20	300	241
17	0.20	400	245
18	0.20	300	246
19	0.20	300	246
20	0.20	200	254
合計		7950	W<1.0

ひびわれ充填工参考図
(遊離石灰)

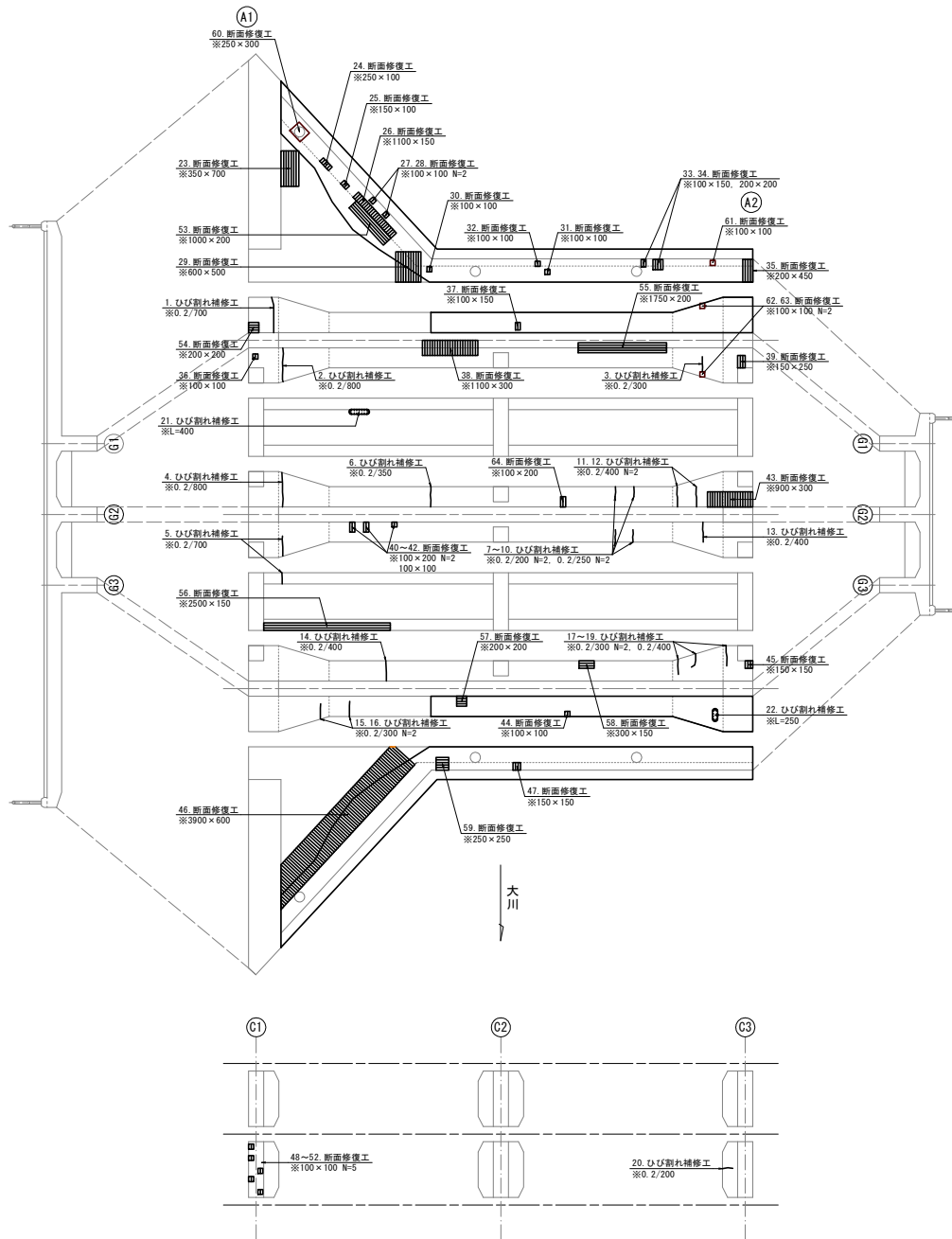


※施工手順等についてはコンクリート補修工標準図参照

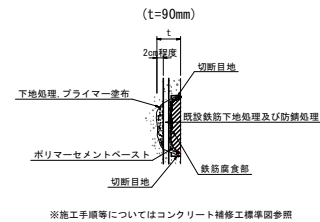
ひびわれ充填工			
番号	幅	長さ	写真番号
21	—	400	226
22	—	250	248
合計		650	

コンクリート部材補修図(2-2) S=1:50 (析 下)

張出床版及び外桁は全体的に地覆側面からの低い水が見られる：17-その他 (e) 写-252, 253



断面修復工参考図

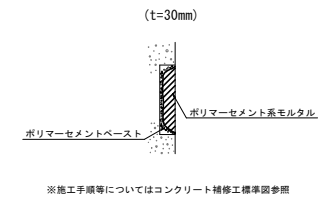


※施工手順等についてはコンクリート補修工標準図参照

断面修復工 (t=90mm) ※ 左官工法			
番号	寸法 (mm)	面積 (m ²)	写真番号
53	1000 × 200	0.200	207
54	200 × 200	0.040	215
55	1750 × 200	0.350	221
56	2500 × 150	0.375	239
57	200 × 200	0.040	242
58	300 × 150	0.045	244
59	250 × 250	0.063	250
合計		1.113	

断面修復工 (t=90mm) ※ 左官工法			
番号	寸法 (mm)	面積 (m ²)	写真番号
23	350 × 700	0.245	202
24	250 × 100	0.025	203
25	150 × 100	0.015	204
26	1100 × 150	0.165	205
27	100 × 100	0.010	206
28	100 × 100	0.010	206
29	600 × 500	0.300	208
30	100 × 100	0.010	209
31	100 × 100	0.010	210
32	100 × 100	0.010	211
33	100 × 150	0.015	212
34	200 × 200	0.040	212
35	200 × 450	0.090	214
36	100 × 100	0.010	217
37	100 × 150	0.015	219
38	1100 × 300	0.330	220
39	150 × 250	0.038	225
40	100 × 200	0.020	230
41	100 × 200	0.020	230
42	100 × 100	0.010	231
43	900 × 300	0.270	237
44	100 × 100	0.010	243
45	150 × 150	0.023	247
46	3900 × 600	2.340	249
47	150 × 150	0.023	251
48	100 × 100	0.010	255
49	100 × 100	0.010	255
50	100 × 100	0.010	255
51	100 × 100	0.010	255
52	100 × 100	0.010	255
64	100 × 200	0.020	232
合計		4.124	

断面修復工参考図



※施工手順等についてはコンクリート補修工標準図参照

断面修復工 (t=30mm) ※ 左官工法			
番号	寸法 (mm)	面積 (m ²)	写真番号
60	250 × 300	0.075	201
61	100 × 100	0.010	213
62	100 × 100	0.010	223
63	100 × 100	0.010	224
合計		0.105	

【留意事項】

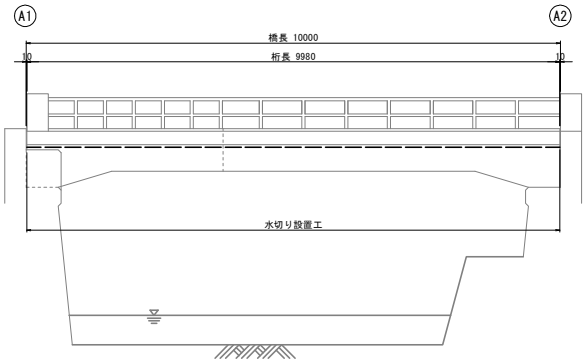
1. 施工時には現地計測を行い、その結果に基づき監督員と協議の上、数値を確定する事。
2. 内部鉄筋の腐食に起因しない変状のはつり深さは、定量的に30mmとして計上している。
3. 内部鉄筋の腐食に起因する変状のはつり深さは、鉄筋背面から20mmまでとして計上している。
(かぶり39mm+鉄筋径φ28+余裕深さ20mm=87mm≒90mm)

実施設計図

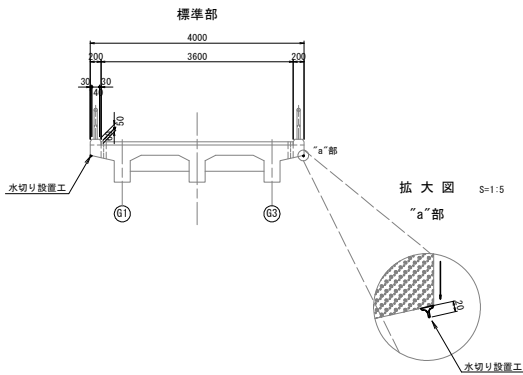
阿 久 根 市			
工 事 名	令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋修繕工事		
路 線 名	出羽線		
工事箇所	阿久根市 大川 地内		
図面種類	コンクリート部材補修図(2-2)		
縮 尺	図 示		
図面番号	全 13	葉 第 4	号

水切り設置工図

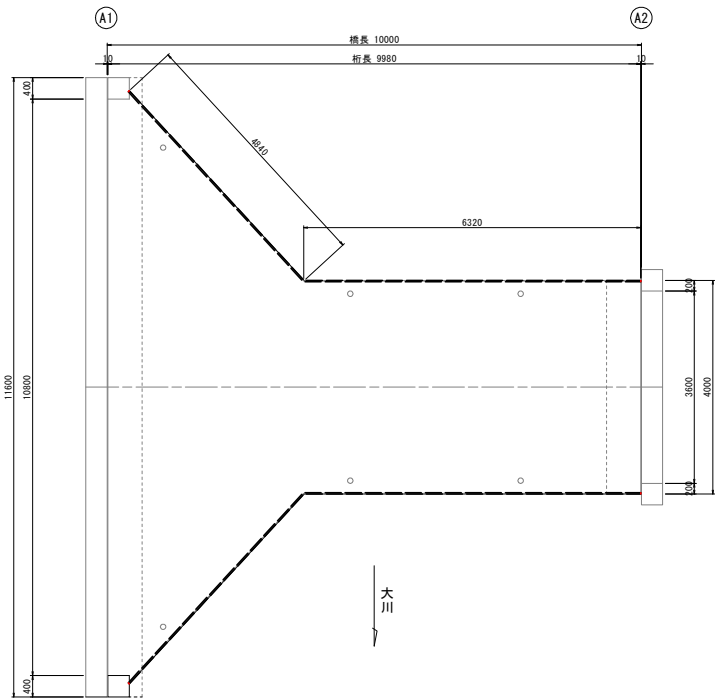
側面図 S=1:50



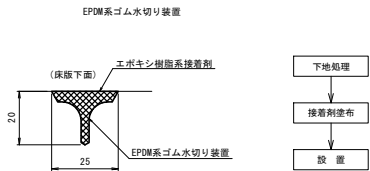
断面図 S=1:50



平面図 S=1:50



水切り設置工詳細図



水切り設置工数量表		
設置箇所	延長 (m)	合計 (m)
張出床版下面(上流側)	4.840+6.320 = 11.160	22.32
張出床版下面(下流側)	4.840+6.320 = 11.160	

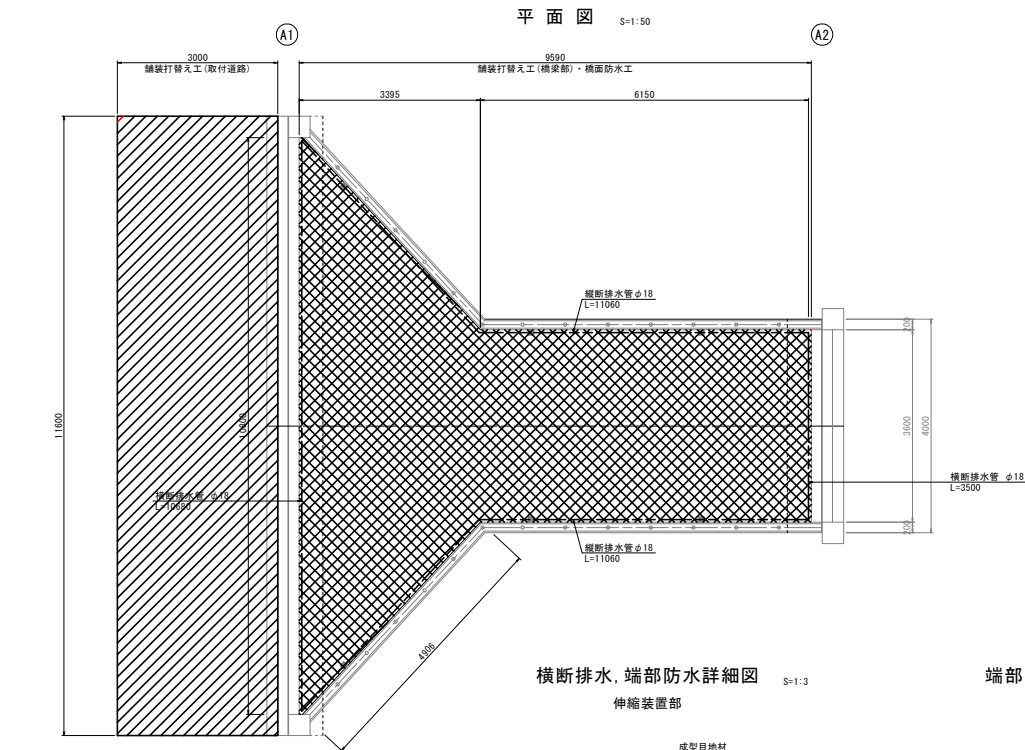
【留意事項】

- 施工時には現地計測を行い、その結果に基づき監督員と協議の上、数値を確定する事。

実施設計図

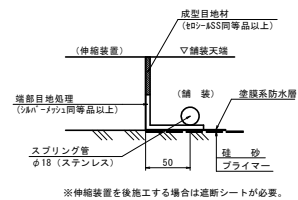
阿久根市	
工事名	令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋修繕工事
路線名	出羽線
工事箇所	阿久根市 大川 地内
図面種類	水切り設置工図
縮尺	図示
図面番号	全 13 葉 第 5 号

橋面工補修図

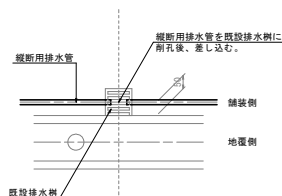
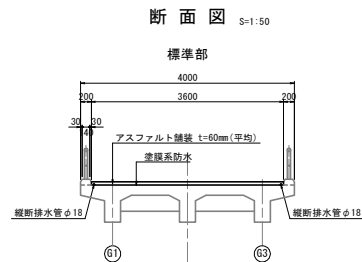


横断排水,端部防水詳細図

伸縮装置部

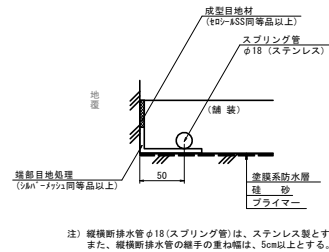


排水処理図

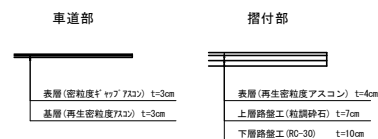


端部目地詳細図

地覆部



舗装構成図



橋面防水工数量表	
項目	数量
1. 橋面防水工	1.00
2. 橋面防水工	1.00
3. 橋面防水工	1.00
4. 橋面防水工	1.00
5. 橋面防水工	1.00
6. 橋面防水工	1.00
7. 橋面防水工	1.00
8. 橋面防水工	1.00
9. 橋面防水工	1.00
10. 橋面防水工	1.00
11. 橋面防水工	1.00
12. 橋面防水工	1.00
13. 橋面防水工	1.00
14. 橋面防水工	1.00
15. 橋面防水工	1.00
16. 橋面防水工	1.00
17. 橋面防水工	1.00
18. 橋面防水工	1.00
19. 橋面防水工	1.00
20. 橋面防水工	1.00
21. 橋面防水工	1.00
22. 橋面防水工	1.00
23. 橋面防水工	1.00
24. 橋面防水工	1.00
25. 橋面防水工	1.00
26. 橋面防水工	1.00
27. 橋面防水工	1.00
28. 橋面防水工	1.00
29. 橋面防水工	1.00
30. 橋面防水工	1.00
31. 橋面防水工	1.00
32. 橋面防水工	1.00
33. 橋面防水工	1.00
34. 橋面防水工	1.00
35. 橋面防水工	1.00
36. 橋面防水工	1.00
37. 橋面防水工	1.00
38. 橋面防水工	1.00
39. 橋面防水工	1.00
40. 橋面防水工	1.00
41. 橋面防水工	1.00
42. 橋面防水工	1.00
43. 橋面防水工	1.00
44. 橋面防水工	1.00
45. 橋面防水工	1.00
46. 橋面防水工	1.00
47. 橋面防水工	1.00
48. 橋面防水工	1.00
49. 橋面防水工	1.00
50. 橋面防水工	1.00
51. 橋面防水工	1.00
52. 橋面防水工	1.00
53. 橋面防水工	1.00
54. 橋面防水工	1.00
55. 橋面防水工	1.00
56. 橋面防水工	1.00
57. 橋面防水工	1.00
58. 橋面防水工	1.00
59. 橋面防水工	1.00
60. 橋面防水工	1.00
61. 橋面防水工	1.00
62. 橋面防水工	1.00
63. 橋面防水工	1.00
64. 橋面防水工	1.00
65. 橋面防水工	1.00
66. 橋面防水工	1.00
67. 橋面防水工	1.00
68. 橋面防水工	1.00
69. 橋面防水工	1.00
70. 橋面防水工	1.00
71. 橋面防水工	1.00
72. 橋面防水工	1.00
73. 橋面防水工	1.00
74. 橋面防水工	1.00
75. 橋面防水工	1.00
76. 橋面防水工	1.00
77. 橋面防水工	1.00
78. 橋面防水工	1.00
79. 橋面防水工	1.00
80. 橋面防水工	1.00
81. 橋面防水工	1.00
82. 橋面防水工	1.00
83. 橋面防水工	1.00
84. 橋面防水工	1.00
85. 橋面防水工	1.00
86. 橋面防水工	1.00
87. 橋面防水工	1.00
88. 橋面防水工	1.00
89. 橋面防水工	1.00
90. 橋面防水工	1.00
91. 橋面防水工	1.00
92. 橋面防水工	1.00
93. 橋面防水工	1.00
94. 橋面防水工	1.00
95. 橋面防水工	1.00
96. 橋面防水工	1.00
97. 橋面防水工	1.00
98. 橋面防水工	1.00
99. 橋面防水工	1.00
100. 橋面防水工	1.00

種 別	規 格	計 算 式	単 位	数 量	備 考
防 水 層	塗膜系	$A=(10.800+3.600) \times 3.395 \times 1/2+3.600 \times 6.150$	= 46.584	m ²	46.58
縦断排水管	スプリング管 φ18 (ステンレス)	$L=11.040 \times 2$	= 22.120	m	22.12
横断排水管	スプリング管 φ18 (ステンレス)	$L=10.680+3.500$	= 14.180	m	14.18
成型目地材	セローASS同等品	$L=10.800+3.600+(4.906+6.150) \times 2$	= 36.512	m	36.51

舗装打替え工(橋梁部)数量表

種 別	規 格	計 算 式	単 位	数 量	備 考
鋪設板砕砕石	Co鋪装	$A = (10.800 + 3.600) \times 3.395 \times 1/2 \times 3.600 \times 6.150$	=	46.584	m ² 46.58
素材運搬工	Co給 推定舗装厚t=60mm	$V = 46.584 \times 0.060$	=	2.795	m ³ 2.79
級別分	Co給	$V =$	=	2.795	m ³ 2.79
A5 舗装工	密粒層キ+αββ F3ス 舗装厚t=30mm	$A = (10.800 + 3.600) \times 3.395 \times 1/2 \times 3.600 \times 6.150$	=	46.584	m ² 46.58
	再生密粒層F3ス 舗装厚t=30mm	$A = (10.800 + 3.600) \times 3.395 \times 1/2 \times 3.600 \times 6.150$	=	46.584	m ² 46.58

舗装打替え工(取付道路)数量表

種 別	規 格	計 算 式	単 位	数 量	備 考
舗装板切断工	As舗装	$L=11.600 \times 3.000 \times 2$	m	17.60	
舗装板破砕工	As舗装	$A=11.600 \times 3.000$	m ²	34.80	
廃材運搬工	As段 推定舗装厚t=50mm	$V=11.600 \times 3.000 \times 0.050$	m ³	1.74	
処分分	As段	$V=11.600 \times 3.000 \times 0.050$	m ³	1.74	
As舗装工	再生密粒度アスコン 舗装厚t=40mm	$A=11.600 \times 3.000$	m ²	34.80	
	粒間砕石 舗装厚t=70mm	$A=11.600 \times 3.000$	m ²	34.80	
	RC-30 舗装厚t=100mm	$A=11.600 \times 3.000$	m ²	34.80	

【留意事項】

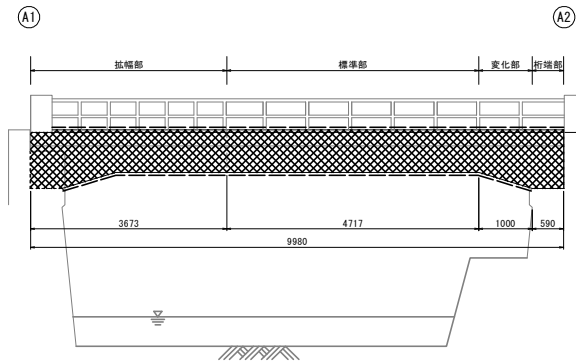
1. 施工にあたっては、現地計測を行い寸法の確認（舗装厚、床版厚等）を行うこと。
2. 舗装厚は推定値とし、現地計測を行い舗装厚の設定を行うこと。
3. 既設舗装の切削・撤去は、床版（主桁）コンクリートを破壊することがないよう舗装厚を確認した上で慎重に作業を行うこと。
4. 橋面防水工施工時には、コンクリート床版を十分清掃し乾燥させた上で作業を行うこと。

実施設計図

阿久根市			
工事名	令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋修繕工事		
路線名	出羽線		
工事箇所	阿久根市 大川 地内		
図面種類	橋面工補修図		
縮尺	図示		
図面番号	全	13 葉 第	6 号

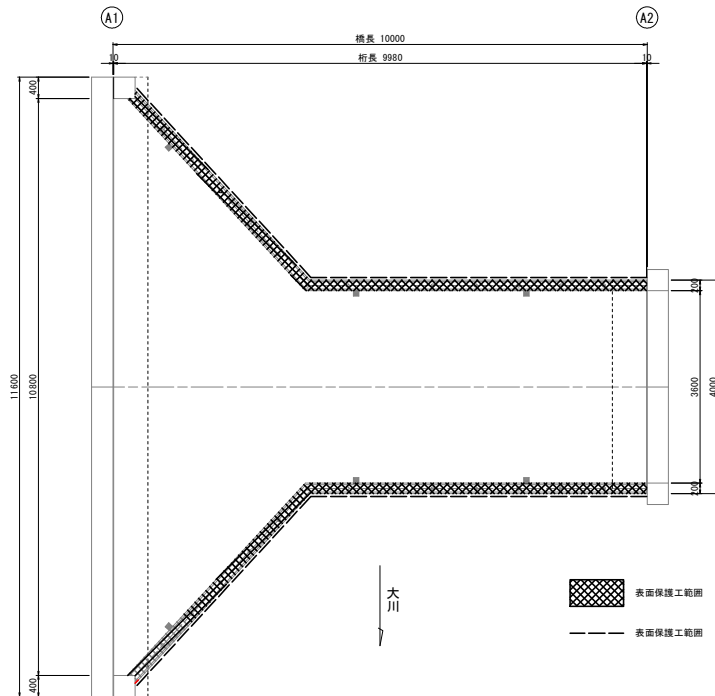
表面保護工図

側 面 図 S=1:50

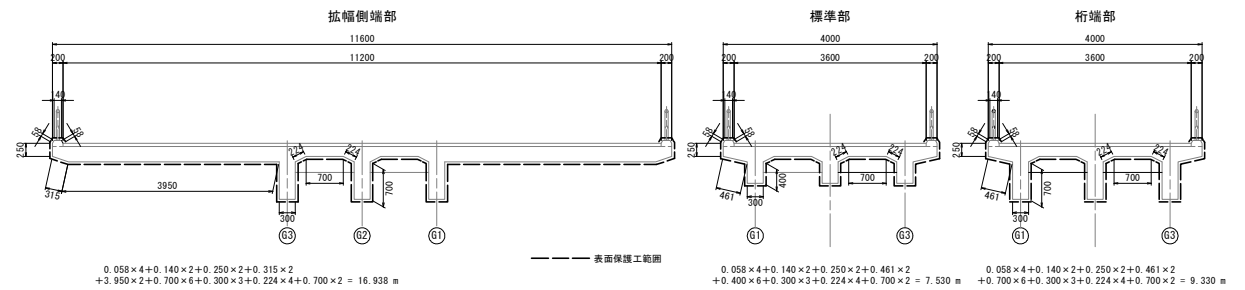


 表面保護工範圍
 表面保護工範圍

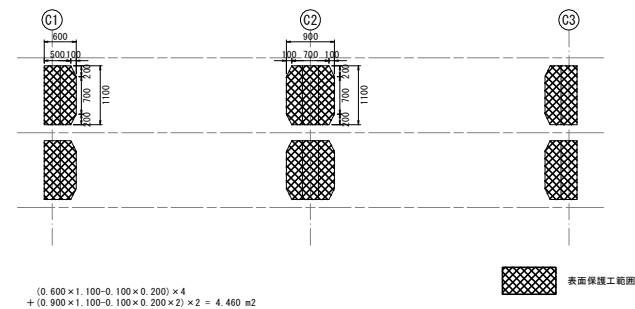
平面图 S=1:50



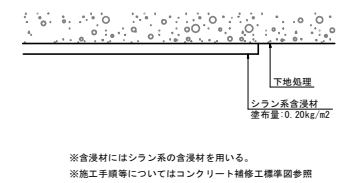
断面图 S=1:50



横 桁 S=1:50



表面含浸材塗布工参考図



表面保護工数量表

種 別	規 格	計 算 式	単 位	数 量	備 考
含浸材建布工	シラン系	$A=(16.938+7.530) \times 1/2 \times 3.673+7.530 \times 4.717$ $+(7.530+9.330) \times 1/2 \times 1.000+9.330 \times 0.590$ $= 94.389$	m2	94.38	

【留意事項】

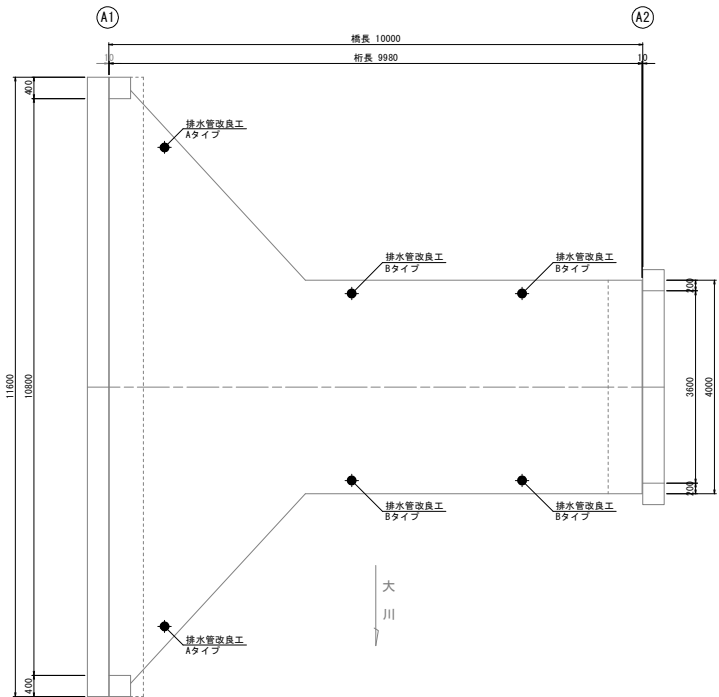
1. 施工時には現地計測を行い、その結果に基づき監督員と協議の上、数値を確定する事。
2. 含浸材の施工は、下地処理（洗浄）を行い乾燥させた状態で実施すること。

実施設計図

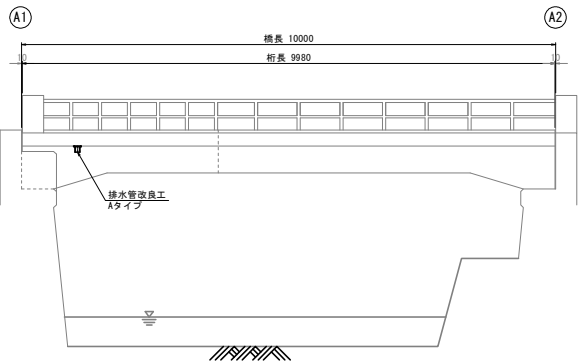
阿久根市				
工事名	令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽線修繕工事			
路線名	出羽線			
工事箇所	阿久根市 大川 地内			
図面種類	表面保護工図			
縮尺	図示			
図面番号	全	13	葉第	7 号

流末処理工参考図

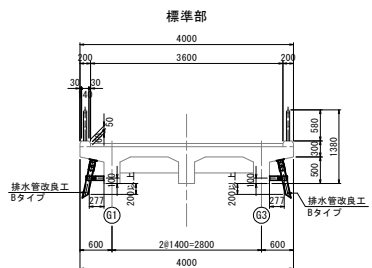
平面図 S=1:50



側面図 S=1:50



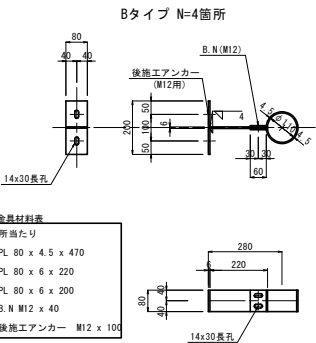
断面図 S=1:50



流末処理工数量表

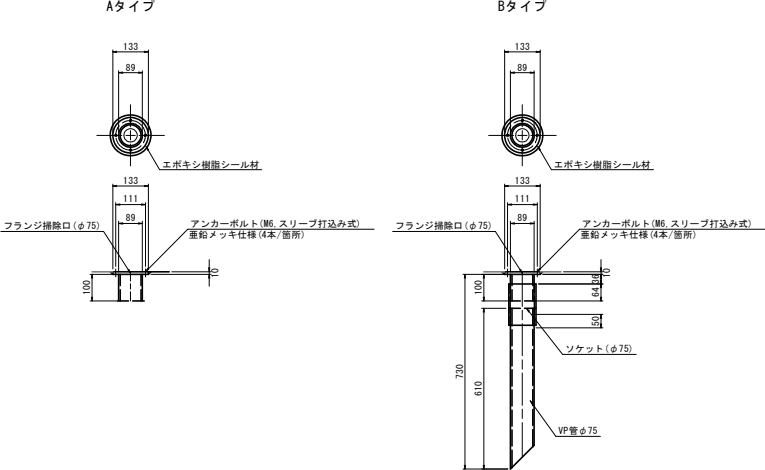
補修項目	仕様	単位	数量	備考
排水管設置工	VP75	m	3.120	0.100m/箇所×2:A 0.730m/箇所×4:B
ソケット・フランチ・パイプ設置工		本	24	4本/箇所×6
排水管	VP75	m	2.44	0.61×4
ソケット	DSφ75	個	4	
フランジ清掃口	COφ75	個	6	
アンカーボルト	M6、スリーブ打込み式	本	24	
排水管取付け金具		組	4	材料については 取付け金具材料表を参照
エポキシ樹脂シール材		m ³	0.0001	
排水目皿	150×130 t=5mm	枚	6	

取付け金具加工図 S=1:10

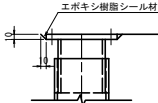


取付け金具材料表
1ヶ所当たり
1×PL 80 x 4.5 x 470
1×PL 80 x 6 x 220
1×PL 80 x 6 x 200
2×B.N M12 x 40
2×後施工アンカー M12 x 100

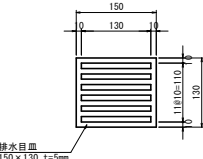
排水管改良工 S=1:10



取付部拡大図 S=1:5



排水目皿詳細図 (橋面) S=1:5



【留意事項】

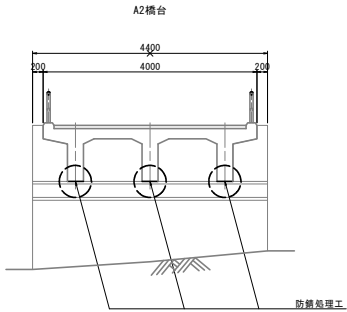
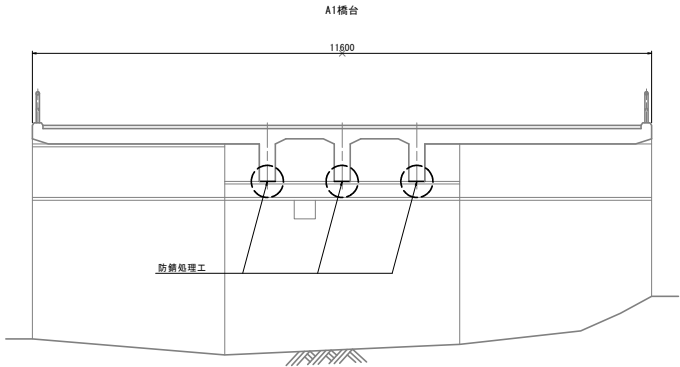
- 製作時には現地計測を行い、その結果に基づき監督員と協議の上、数値を確定する事。

実施設計図

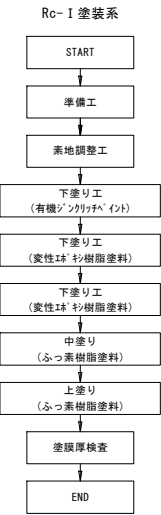
阿久根市	
工事名	令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋修繕工事
路線名	出羽線
工事箇所	阿久根市 大川 地内
図面種類	流末処理工参考図
縮尺	図示
図面番号	全 13 葉 第 8 号

支承補修工図

下部工正面図 S=1:50



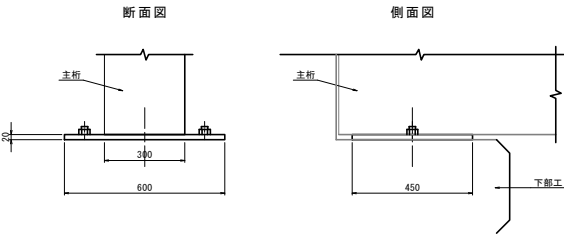
作業手順（参考）



Rc-I 塗装系（スプレー）

塗装工程	塗 装 名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1種ケレン		4時間以内
下 塗	有機ジンクリッチペイント	600	1～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1～10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1～10日

支承詳細図 S=1:10



塗替え塗装工数量

$$0.020 \times (0.600 + 0.450 \times 2) + 0.450 \times (0.600 - 0.300) = 0.165 \text{ m}^2 \text{ (1基)}$$
$$0.165 \times 6 \text{ (基)} = 0.990 \text{ m}^2$$

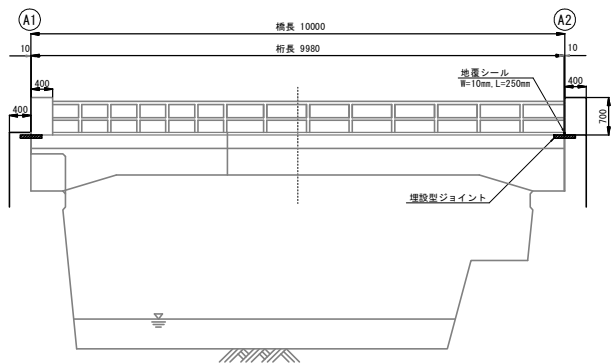
【留意事項】

1. 施工時には現地計測を行い、その結果に基づき監督員と協議の上、数値を確定する事。

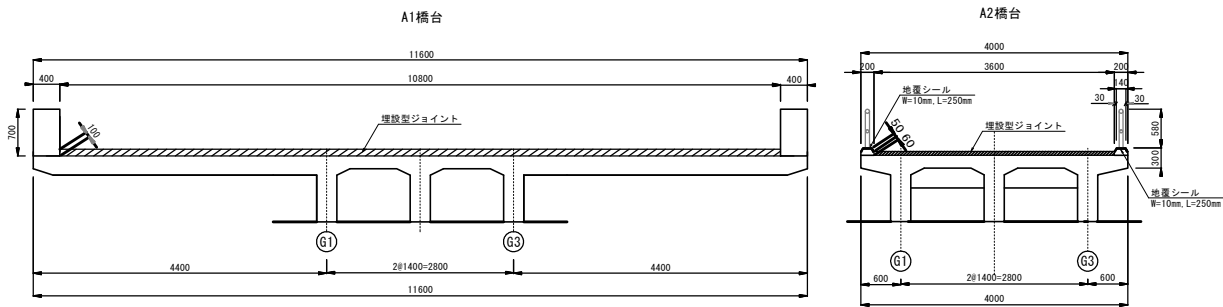
実施設計図	
阿久根市	
工 事 名	令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋修繕工事
路 線 名	出羽線
工事箇所	阿久根市 大川 地内
図面種類	支承補修工図
縮 尺	図 示
図面番号	全 13 葉 第 9 号

伸縮装置設置工図

側面図 S=1:50

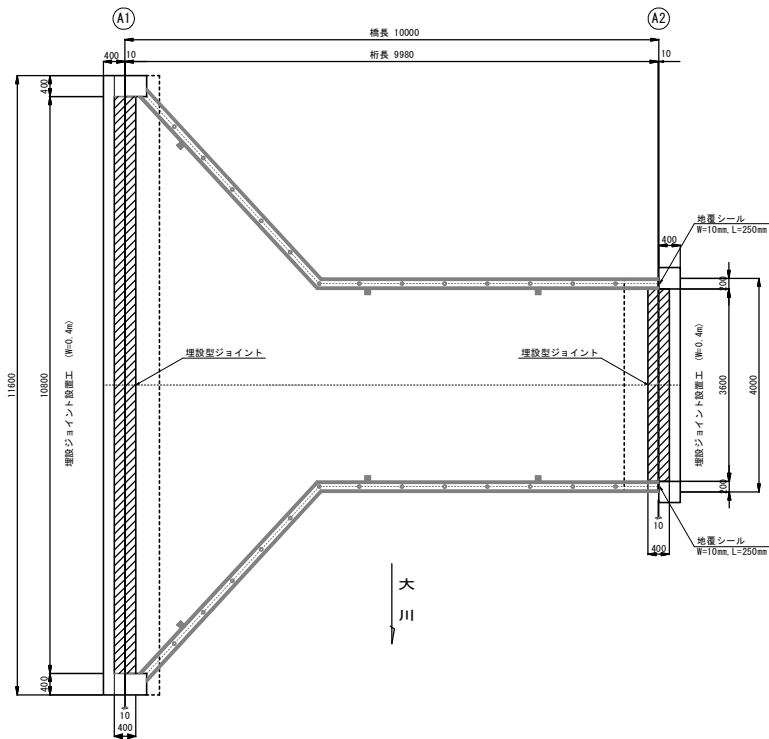


断面図 S=1:40

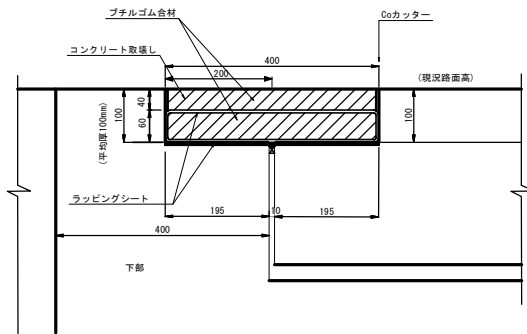


埋設型ジョイント
(ラッピングジョイント) S=1:5

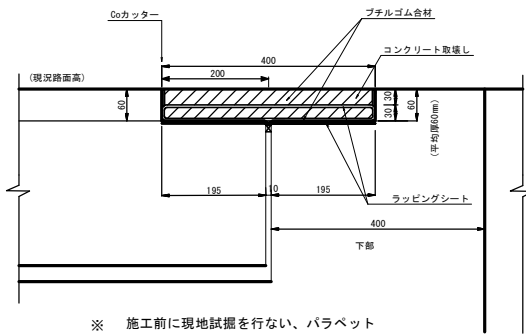
平面図 S=1:50



A1橋台



A2橋台



- ※ 施工前に現地試掘を行ない、パラベットの有無、遊間幅、舗装厚等の確認を行ない、監督員と協議の上、施工を進めること。
- ※ A1道路側は勾配があるため、すり付け舗装を行い転圧すること。

数量表 (A1側t=100mm、A2側t=60mm)					14.4m (10.8m、3.6m) 当り	
名 称	単位	数 量			摘 要	
		A1	A2	計		
ブチルゴム合材	kg	907.2	181.4	1088.6	A1: 0.40×0.10×10.80×2100kg/m3	
					A2: 0.40×0.06×3.60×2100kg/m3	
ラッピングシート	m2	13.9	4.2	18.1	A1: (10.80×(0.40+0.10+0.04)×2)×1.2	
					A2: (3.60×(0.40+0.10+0.04)×2)×1.2	
地置シール	m2		0.5	0.5	A2: 0.25×2箇所	

Co取壊工			(1橋当り)			
種 別	規 格	計 算 式	単 位	数 量	備 考	
舗装版切断工	Co舗装	$L=10.800+3.600$	=	14.400	m	14.40
舗装版破砕工	Co舗装	$A=10.800 \times 0.400+0.400 \times 0.200 \times 2$	=	4.480	m ²	4.48
舗装版破砕工	Co舗装	$A=3.600 \times 0.400+0.400 \times 0.200 \times 2$	=	1.600	m ²	1.60
廃材運搬工	Co殻	$V=4.480 \times 0.100+1.600 \times 0.060=0.544$	0.544	m ³	0.54	
処分分	Co殻	V=	0.544	m ³	0.54	

実施設計図	
工 事 名	令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋修繕工事
路 線 名	出羽線
工事箇所	阿久根市 大川 地内
図面種類	伸縮装置設置工図
縮 尺	図 示
図面番号	全 13 葉 第 10 号

防護柵新設工

Figure 6 illustrates the standard section drawing of a bridge deck. It shows a cross-section with a total width of 1020 mm and a height of 1950 mm from the top slab to the bottom slab. The top slab has a diameter of φ60, the middle slab has a diameter of φ45 with N=3 reinforcement, and the bottom slab has a diameter of φ60. Reinforcement anchors (根固めアンカー) are located at both ends, model 4-WZ2 (A.6), with an anchorage length of 100 mm. The central part of the drawing is labeled "標準部" (Standard Section).

名 称	単位	数量	計算式	摘要
防護柵	m	21.9	$(4.680+6.270) \times 2$	
			特記仕様： 特注品とする。	特注品
支柱アンカー	m	21.9	$(4.680+6.270) \times 2$	
ベースプレート	枚	14	14枚 (標準部)	t=16mm
	枚	2	2枚 (屈折部)	t=16mm
アンカーボルト	本	64	4(本/1プレート)×16(枚)	M22
防鉄ヤップ	本	64		
鉄筋探査工	m ²	0.27	0.140×0.140×14箇所	

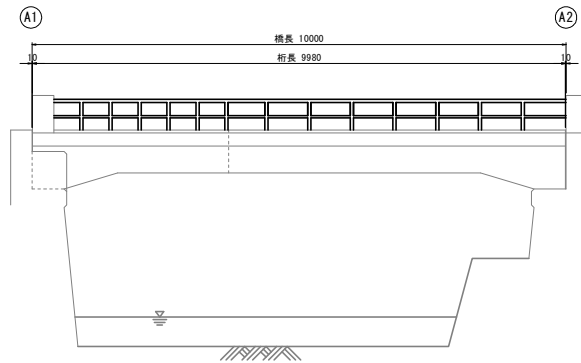
阿久根市

工 事 名	令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋修繕工事
路 線 名	出羽線
工事箇所	阿久根市 大川 地内
図面種類	防護柵補修工図(2-1)
縮 尺	図 示
図面番号	全 13 葉 第 11 号

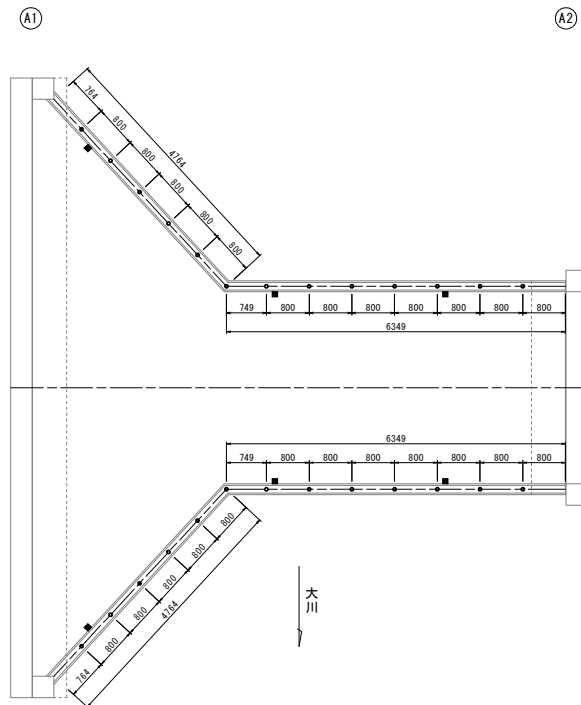
1. 施工時には現地計測を行い、その結果に基づき監督員と協議の上、数値を確定する事。

防護柵撤去工

S=1:50



S=1 : 50



S=1:50

(1橋当り)

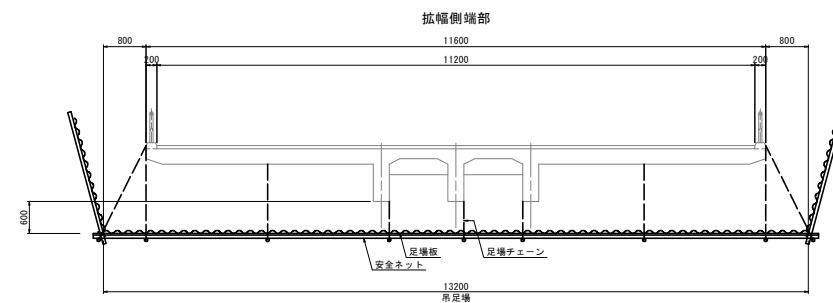
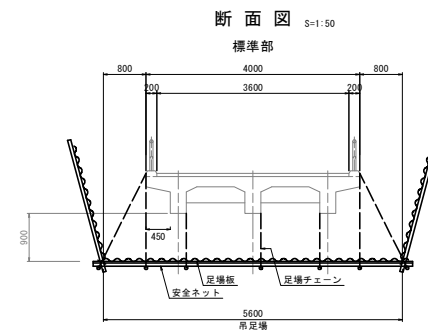
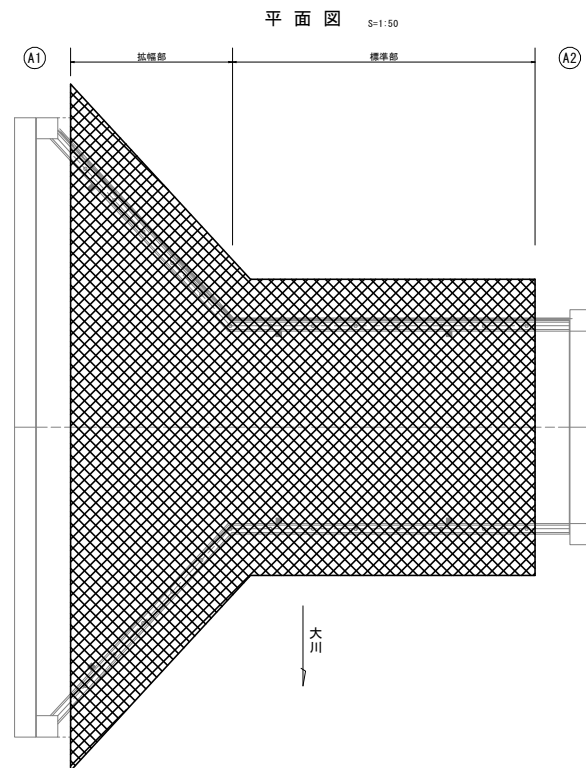
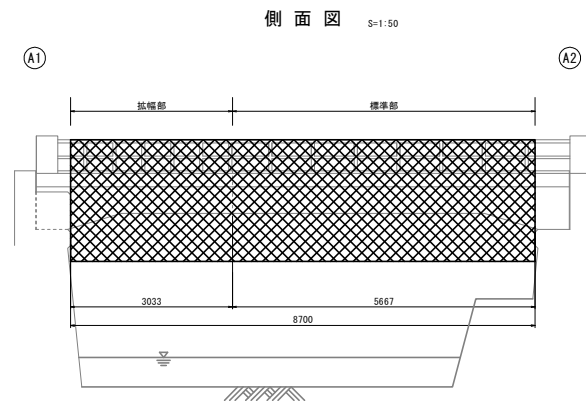
種 別	規 格	計 算 式	單 位	數 量	備 考
防護欄撤去工	鋼製	$[(4.764 + 6.349) \times 2]$ $= 22.226$	m	22.22	

1. 施工時には現地計測を行い、その結果に基づき監督員と協議の上、数値を確定する事。

阿久根市

工 事 名	令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋修繕工事
路 線 名	出羽線
工事箇所	阿久根市 大川 地内
図面種類	防護柵補修工図（2-2）
縮 尺	図 示
図面番号	全 13 葉 第 12 号

補修用足場参考図



補修用足場数量表

種別	規格	計算式	数量	単位
主桁・床版足場		$A = 4,000 \times 5,667 + (4,000 + 11,600) \times 1/2 \times 3,033$	= 46,325	掛m2
プラスト養生シート工		$A = 4,000 \times 5,667 + (4,000 + 11,600) \times 1/2 \times 3,033$	= 46,325	掛m2
片側防護欄足場		$A = (0,800 + 0,450) \times 8,700 \times 2$	= 21,750	掛m2

【留意事項】

- ・作業性及び足場の構造性を考慮して決定のこと。
- ・足場設置時には地表の状況に留意し作業中に転倒・移動を生じないようにすること。
- ・はつりガラ等が飛散しないように作業床にはシートを敷いた上で作業を行うこと。
- ・発注時期、作業の段取り等に応じて足場の配置などについて監督官と協議の上で計画を行うこと。

実施設計図

阿久根市	
工事名	令和7年度 道路メンテナンス事業 出羽橋修繕工事
路線名	出羽線
工事箇所	阿久根市 大川 地内
図面種類	補修用足場参考図
縮尺	図示
図面番号	全 13 葉 第 13 号